

生活とお金に関するアンケート

2019年 2月1日

家庭の銀行



調査の概要

P1

1. 2018年を振り返って

P2

2. 2019年の展望について

P8

3. 備えが必要（経済的に不安）と感じること

P14

4. 今、一番買いたいもの

P16

5. お金の支払いをする際の決済方法

P18

6. 資産運用について

P20

調査目的

近年、上場企業の純利益は3年連続で過去最高となる見通しとなるなど、景気回復が続いていると言われている中、青森県内の企業からは「依然として景気回復の兆しが見えない」との声も数多く出ている。

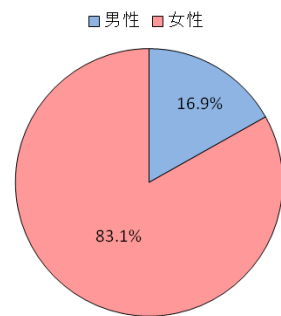
一方、個人を取り巻く環境では、消費動向や住宅投資などは堅調に推移するなど、青森県の景気は良いのか悪いのか判断が難しい状況が続いている。

また、生活をしていく上で欠かすことの出来ないお金を取り巻く環境もキャッシュレス決済などの普及などにより大きく変化している中、実際に青森県民は自身の生活環境をどのように感じているのか、生活への満足度やお金に関する意識について掘り下げることがを目的に実施する。

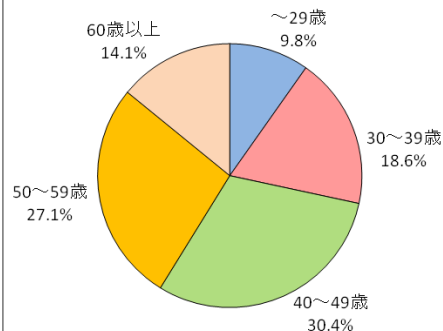
- 調査対象・・・青森県内に居住の個人 1,090名
- 調査方法・・・無記名による回答選択方式および自由記述方式
- 調査時期・・・2018年12月初旬～12月下旬（毎年1回）
- 回収率・・・1,090名（100%）

回答者の属性

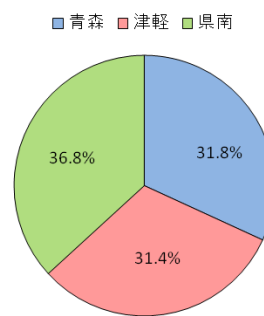
回答者の性別(全体)



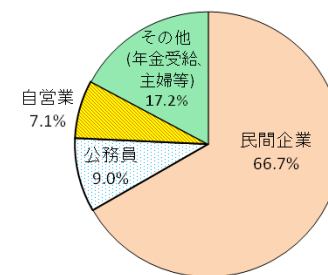
年代別(全体)



地区別(全体)



回答者の職業(全体)



1. 2018年を振り返って

1-1. あなたにとって、2018年はどんな年でしたか？

若い年代ほど「良い年だった」と回答

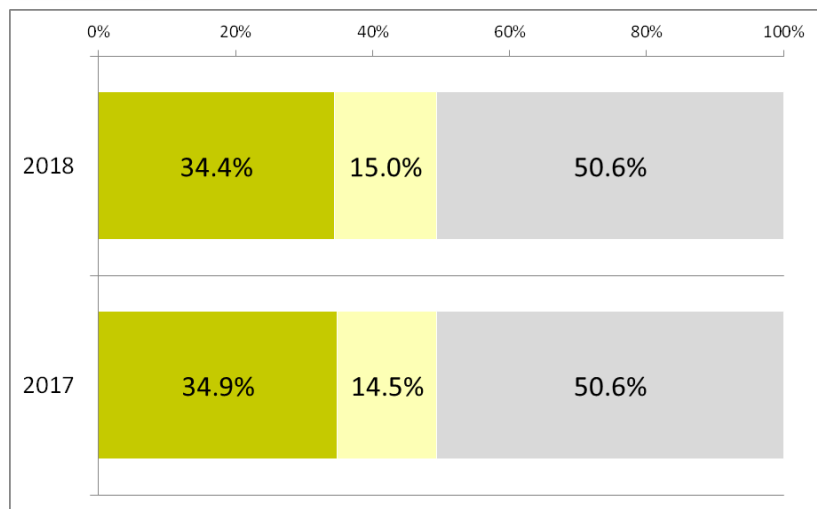
2018年を振り返って、「良い年だった」と回答した割合は、前年比0.5ポイント減の34.4%となり、「悪い年だった」の回答を19.4ポイント上回った。

「良い年だった」と回答した割合を年代別で見ると、20代が前年比1.1ポイント減の54.5%と最も高く、50代が前年比3.2ポイント減の26.1%と最も低い割合となるなど、若い年代ほど「良い年だった」と回答した人が多かった。また、全ての年代で「良い年だった」が「悪い年だった」を上回った。

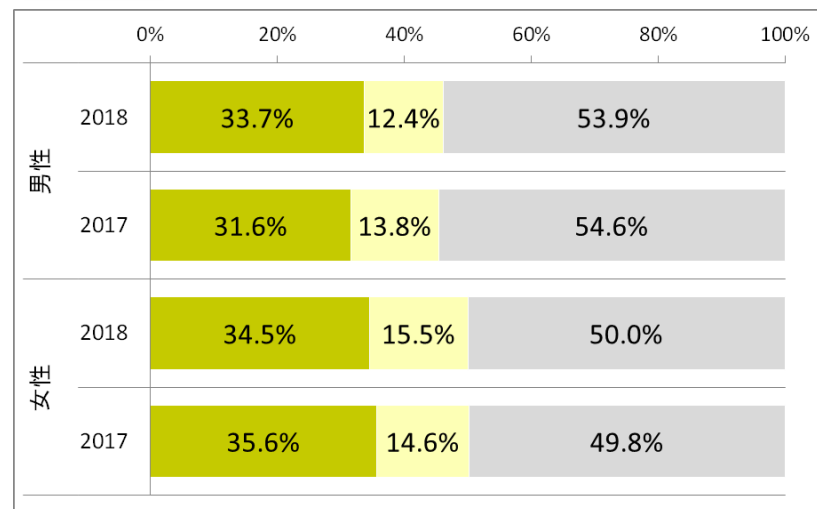
男女別で見ると、女性の方が「良い年だった」と回答する割合が多く、総じて2018年を振り返ると青森県民は相応に満足して過ごした年だったと言える。

■①良い年だった □②悪い年だった □③いつもと変わらない年だった

全体



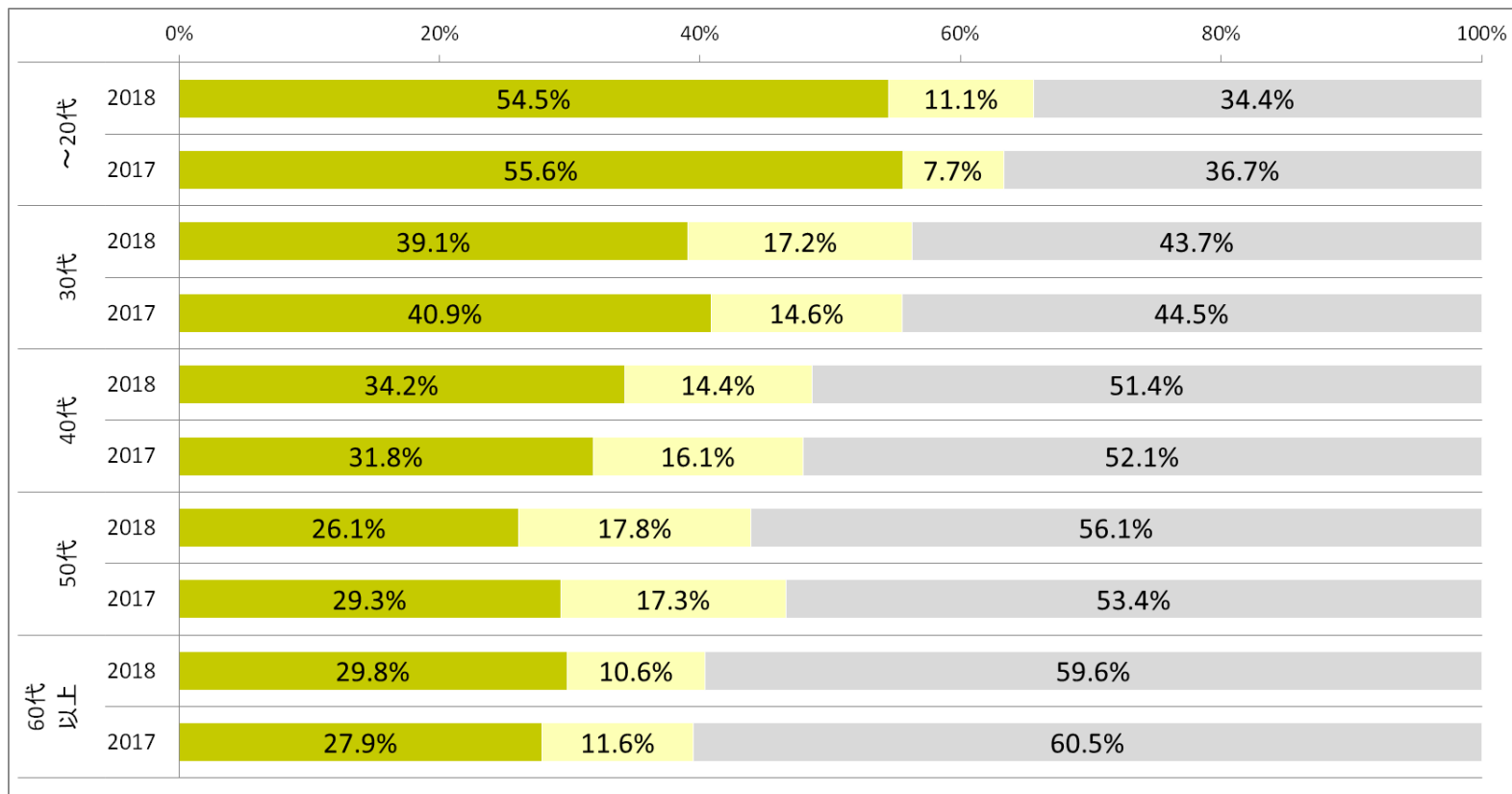
男女別



1. 2018年を振り返って

■①良い年だった □②悪い年だった □③いつもと変わらない年だった

年代別



1. 2018年を振り返って

1-2. 2018年が「良い年だった」理由を教えてください。

健康が一番の理由

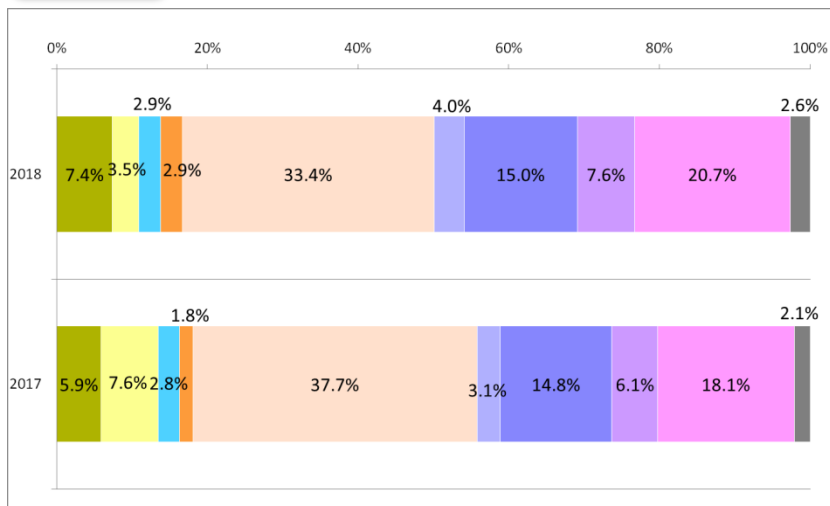
2018年が「良い年だった」と回答した人に理由を尋ねたところ、「⑤健康に過ごせた」が前年比4.3ポイント減の33.4%で最も高い割合となった。

次いで、「⑨趣味や娯楽で充実した余暇を過ごせた」が前年比2.6ポイント増の20.7%、「⑦お祝い事があった」が前年比0.2ポイント増の15.0%となった。「給料やボーナスが増えた」等の経済的な理由よりも「健康」「充実した余暇」「お祝い事」が個人の満足度には影響が高い結果となった。

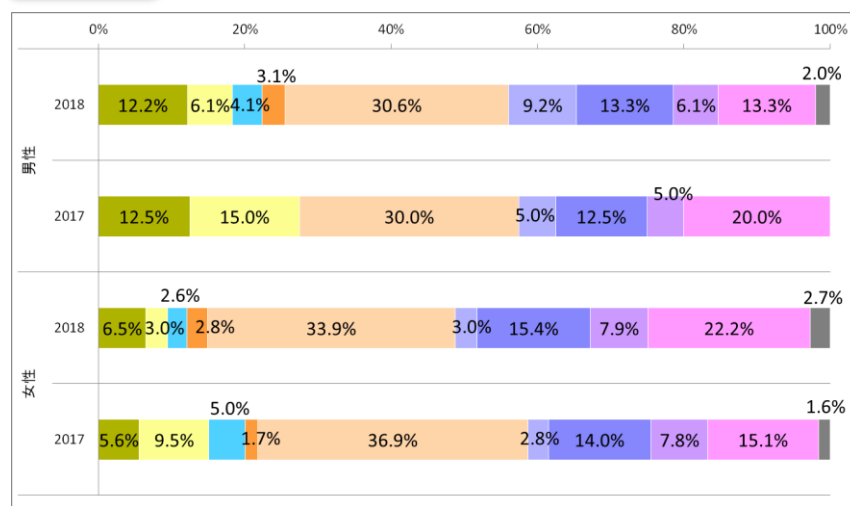
男女別で見ると、昨年に引き続き男性の方が女性に比べて「給料やボーナスが増えた」を理由に挙げる割合が高く、女性の方は「趣味や娯楽で充実した余暇を過ごせた」を挙げる割合が高い結果となった。

- ①毎月の給料が増えた
- ②ボーナスが増えた
- ③貯蓄(資産)が増えた
- ④雇用環境が改善した
- ⑤大きなケガや病気をせず健康に過ごせた
- ⑥自己研鑽が出来た
- ⑦お祝い事があった(結婚、子ども(孫)誕生など)
- ⑧住宅や車など大きな買い物が出来た
- ⑨趣味や娯楽などで充実した余暇を過ごすことが出来た
- ⑩その他

全体



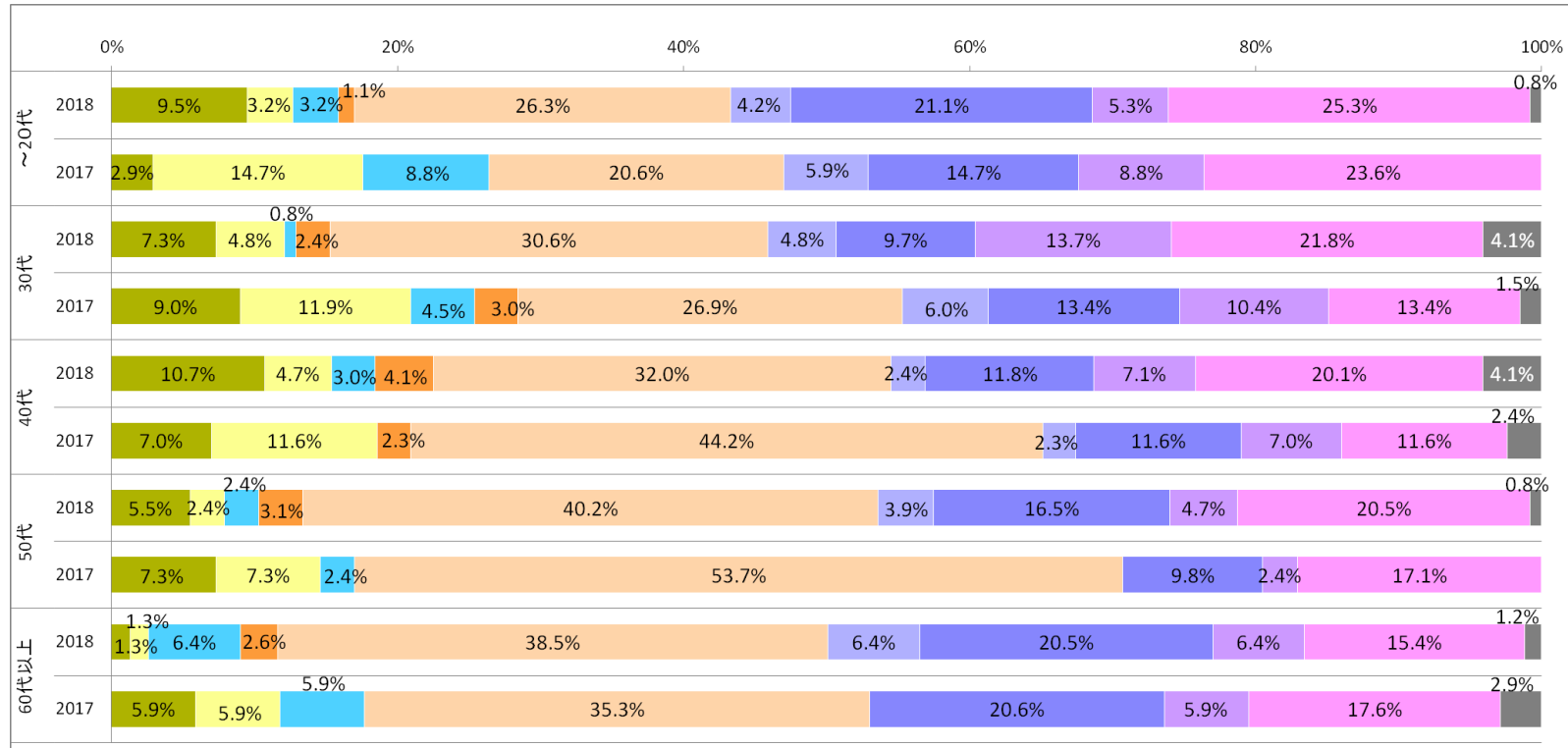
男女別



1. 2018年を振り返って

- ①毎月の給料が増えた
- ②ボーナスが増えた
- ③貯蓄(資産)が増えた
- ④雇用環境が改善した
- ⑤大きなケガや病気をせず健康に過ごせた
- ⑥自己研鑽が出来た
- ⑦お祝い事があった(結婚、子ども(孫)誕生など)
- ⑧住宅や車など大きな買い物が出来た
- ⑨趣味や娯楽などで充実した余暇を過ごすことが出来た
- ⑩その他

年代別



【その他コメント】

- ・子どもの進学が決まった(複数)
- ・仕事が見つかった(複数)

1. 2018年を振り返って

1-3. 2018年が「悪い年だった」理由を教えてください。

健康が一番の理由

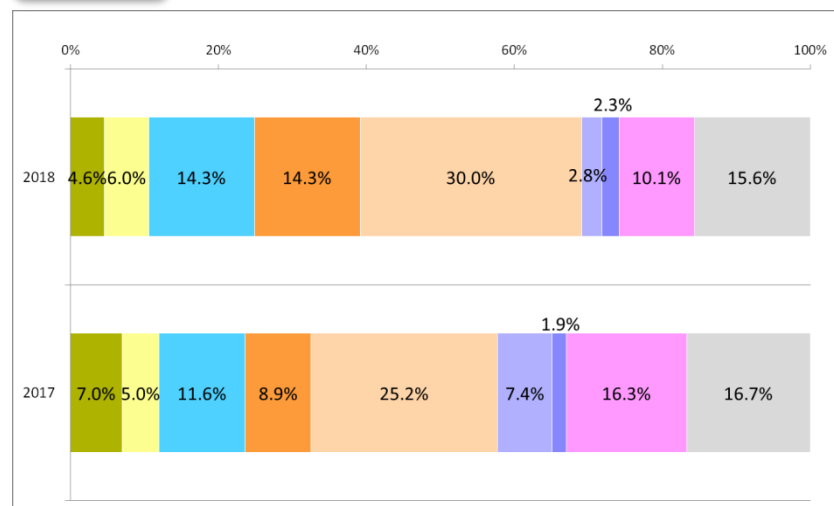
2018年が「悪い年だった」と回答した人に理由を尋ねたところ、「⑤健康に過ごすことが出来なかった」が前年比4.8ポイント増の30.0%で最も高い割合となった。次いで、「③貯蓄（資産）が減った」が前年比2.7ポイント増、「④雇用環境が悪化した」が前年比5.4ポイント増の同率で14.3%となった。

年代別では、「⑤健康に過ごすことが出来なかった」が50代を除く全ての年代で増加する結果となり、60代以上の前年比14.4ポイント増の39.1%が最も高く、20代においても前年比12.4ポイント増の27.8%と若い世代でも割合が高くなった。

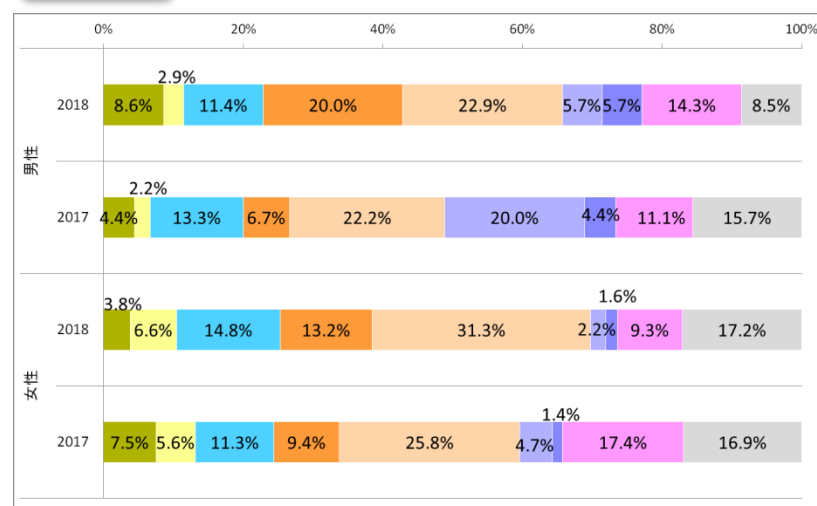
また、昨年は20代が「自己研鑽が出来なかった」を理由に挙げる割合が30.8%と突出していたものの、今年は前年比25.2ポイント減の5.6%となり大幅な改善が見られた。

- ①毎月の給料が減った
- ②ボーナスが減った
- ③貯蓄(資産)が減った
- ④雇用環境が悪化した
- ⑤健康に過ごすことが出来なかった
- ⑥自己研鑽が出来なかった
- ⑦住宅や車など大きな買い物が出来なかった
- ⑧趣味や娯楽などで充実した余暇を過ごすことが出来なかった
- ⑨その他

全体



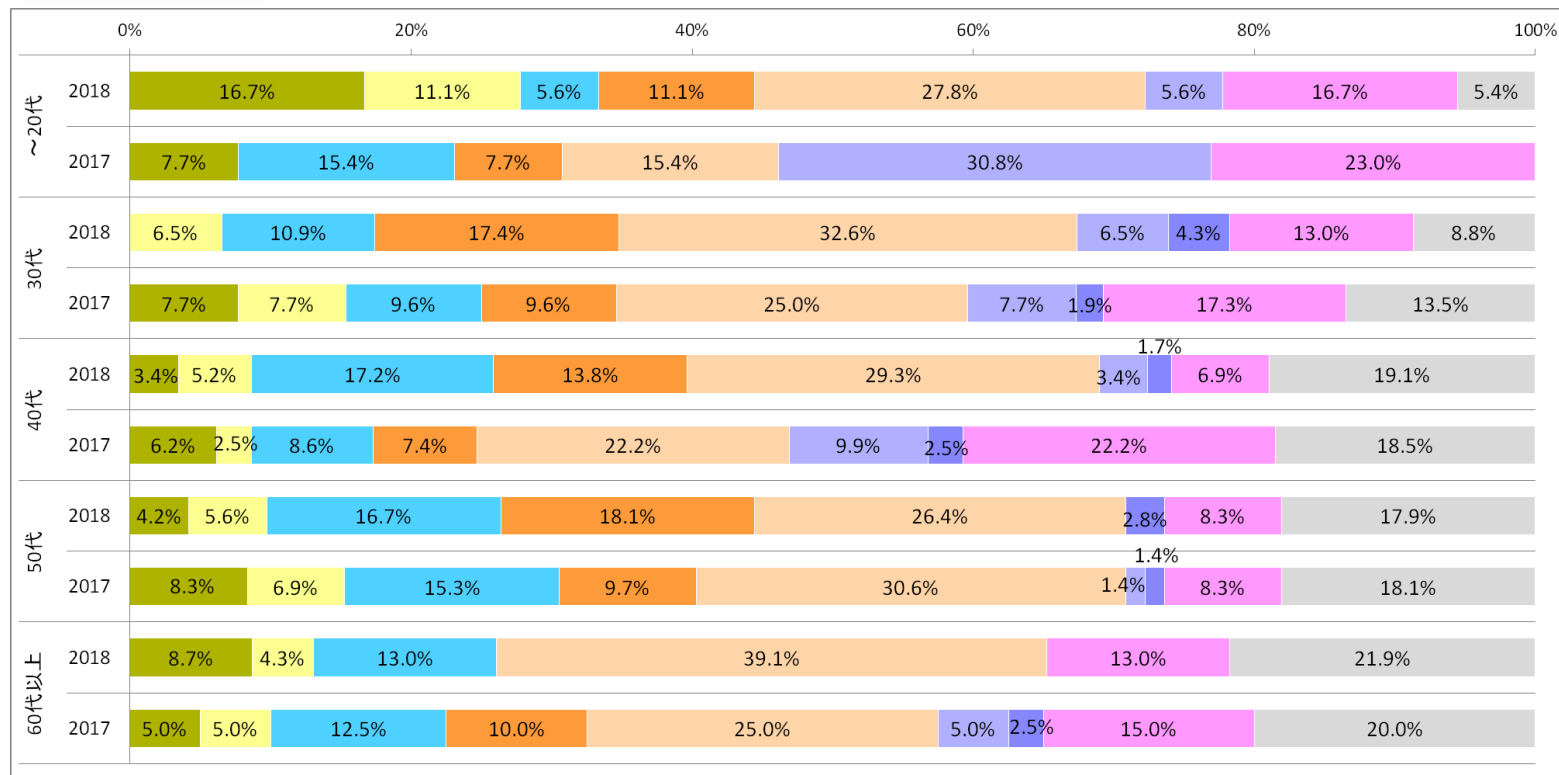
男女別



1. 2018年を振り返って

- ①毎月の給料が減った
- ②ボーナスが減った
- ③貯蓄(資産)が減った
- ④雇用環境が悪化した
- ⑤健康に過ごすことが出来なかった
- ⑥自己研鑽が出来なかった
- ⑦住宅や車など大きな買い物が出来なかった
- ⑧趣味や娯楽などで充実した余暇を過ごすことが出来なかった
- ⑨その他

年代別



【その他コメント】

- ・ 事故にあった（複数）
- ・ 身内の不幸（複数）

2. 2019年の展望について

2-1. あなたにとって、2019年は2018年と比べてどんな年になりそうですか？

若い年代ほど「良い年になりそう」と回答

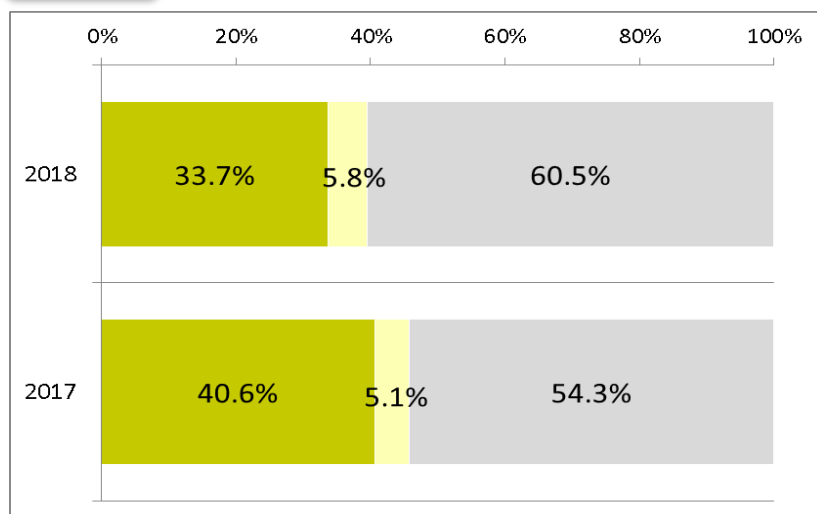
2019年を展望して、「良い年になりそう」と回答した割合は前年比6.9ポイント減の33.7%となり、「悪い年になりそう」の回答を27.9ポイント上回った。

「良い年になりそう」と回答した割合を年代別で見ると、20代が前年比7.6ポイント減の50.5%と最も高くなった。60代以上が前年比19.6ポイント減の18.9%と最も低い割合となった。若い年代ほど「良い年になりそう」と回答する割合が多く、全ての年代で「良い年になりそう」が「悪い年になりそう」を大幅に上回った。

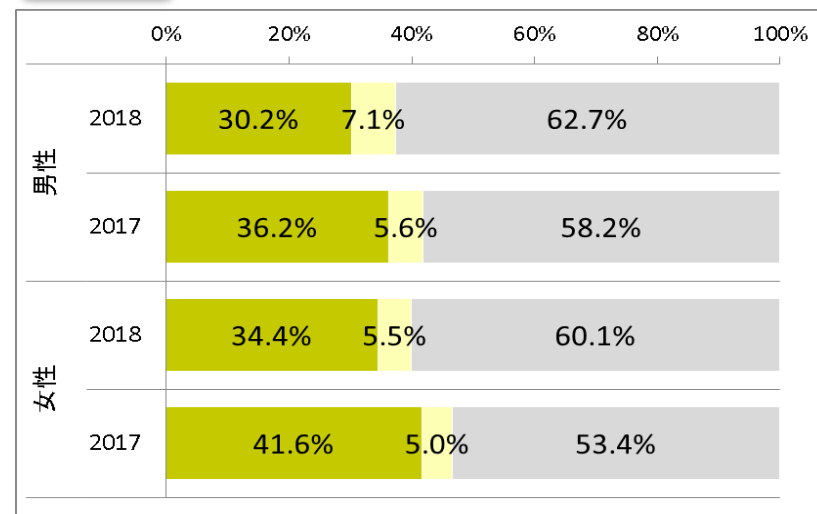
総じて、2019年は「悪い年になりそう」と考える割合は、昨年と同様の約5%と極めて少なく、「良い年になりそう」と考えている県民が多いという結果となった。

■①良い年になりそう □②悪い年になりそう □③今年と変わらないと思う

全体



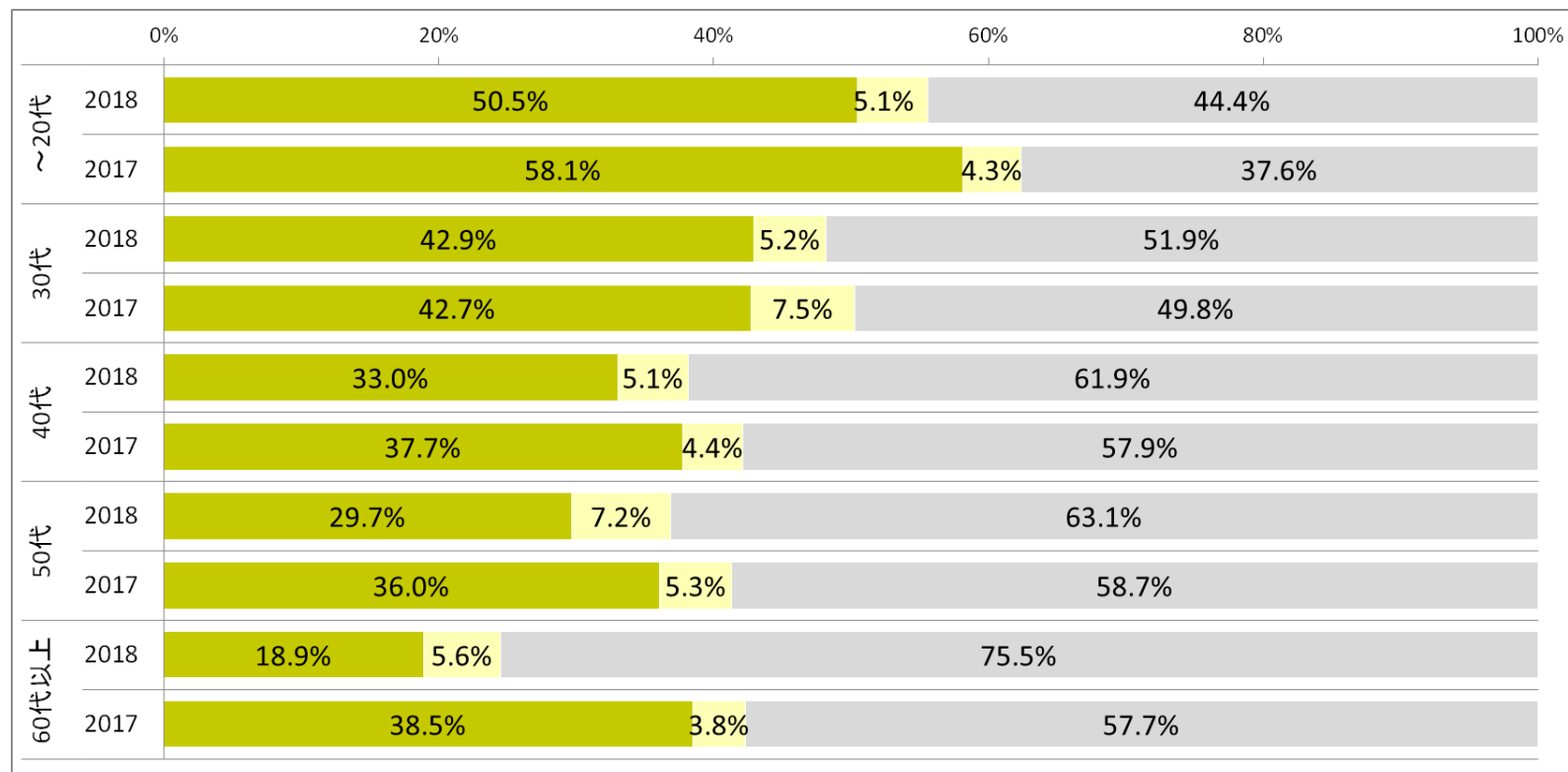
男女別



2. 2019年の展望について

■①良い年になりそう □②悪い年になりそう □③今年と変わらないと思う

年代別



2. 2019年の展望について

2-2. 2019年が「良い年になりそう」な理由を教えてください。

昨年に引き続き「充実した余暇が過ごせそう」が最多

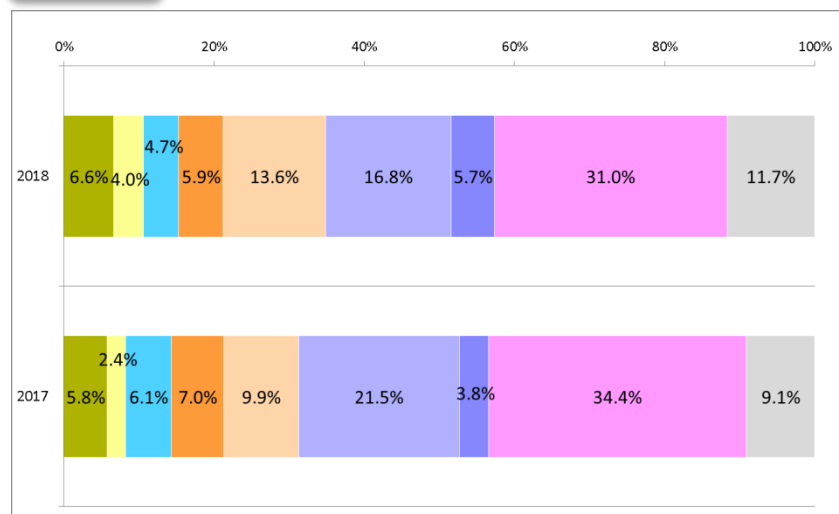
2019年が「良い年になりそう」と回答した人に理由を尋ねたところ、「⑧趣味や娯楽で充実した余暇を過ごせそう」が前年比3.4ポイント減の31.0%で最も高い割合となった。次いで、「⑥お祝い事がある予定」が前年比4.7ポイント減の16.8%、「⑤自己研鑽に励めそう」が前年比3.7ポイント増の13.6%となった。

年代別で見ると、20歳の「⑧趣味や娯楽で充実した余暇を過ごせそう」を理由に挙げる割合が前年比6.9ポイント増の38.2%と最も高くなった。また、全ての年代で昨年より増加した項目は「⑤自己研鑽に励めそう」という結果となった。

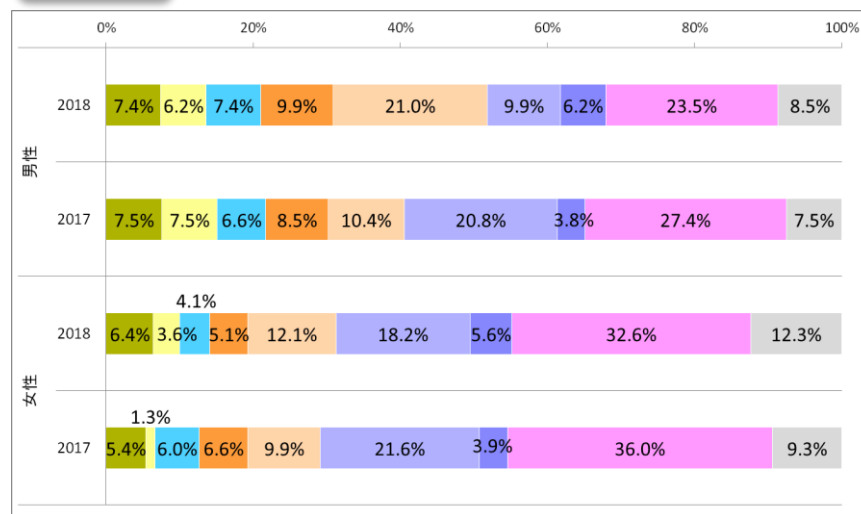
男女別で見ると、男性の方が「自己研鑽に励めそう」を理由に挙げる割合が高く、女性の方が「充実した余暇」を挙げる割合が高い結果となっている。

- ①毎月の給料が増えそうだから
- ②ボーナスが増えそうだから
- ③貯蓄(資産)が増えそうだから
- ④雇用環境が改善しそうだから
- ⑤自己研鑽に励めそうだから
- ⑥お祝い事がある予定だから
(結婚、子ども(孫)誕生など)
- ⑦住宅や車など大きな
買い物が出来そうだから
- ⑧趣味や娯楽などで充実した
余暇を過ごすことが出来そうだから
- ⑨その他

全体



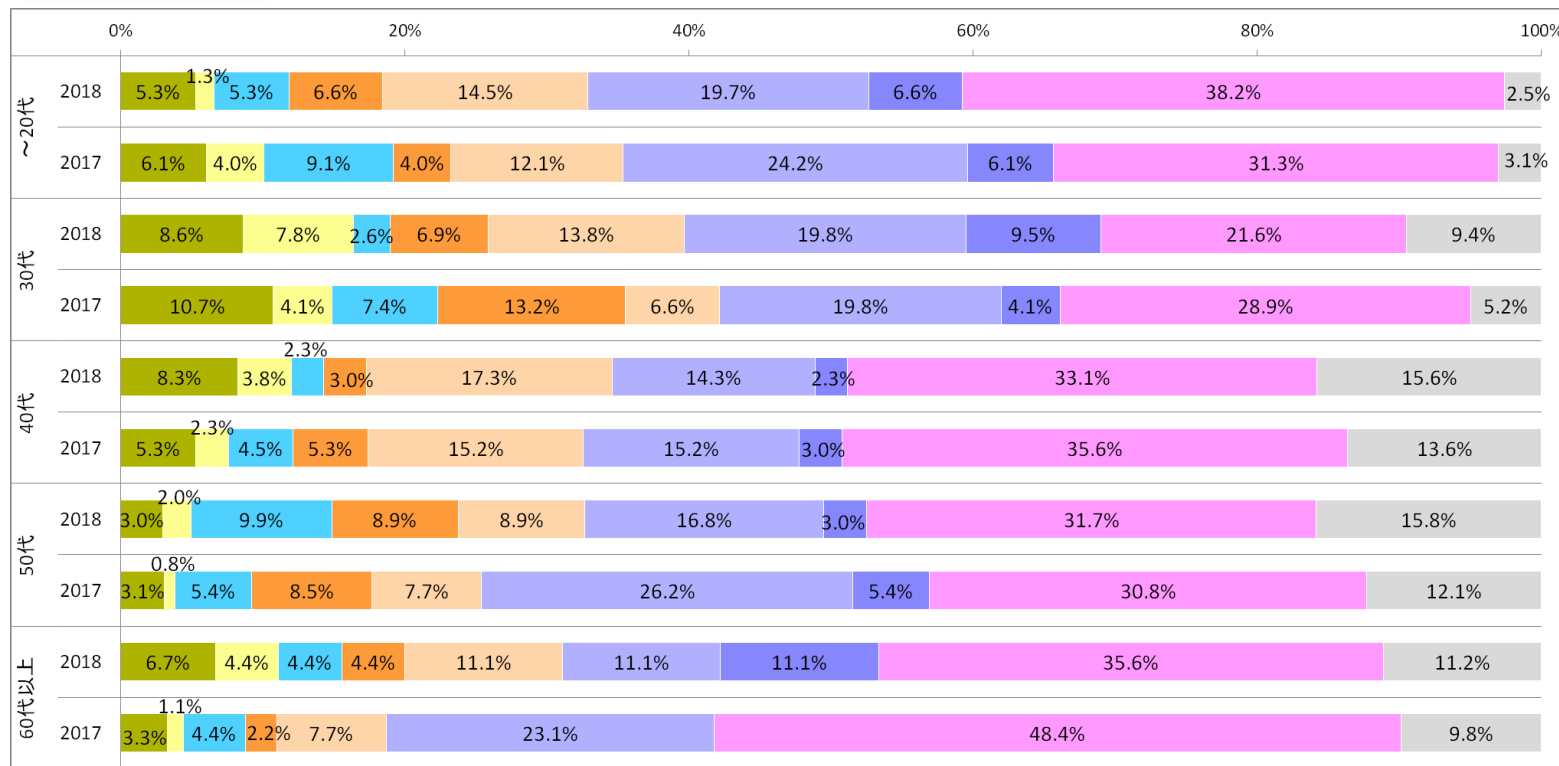
男女別



2. 2019年の展望について

- ①毎月の給料が増えそうだから
- ②ボーナスが増えそうだから
- ③貯蓄(資産)が増えそうだから
- ④雇用環境が改善しそうだから
- ⑤自己研鑽に励めそうだから
- ⑥お祝い事がある予定だから
(結婚、子ども(孫)誕生など)
- ⑦住宅や車など大きな
買い物が出来そうだから
- ⑧趣味や娯楽などで充実した
余暇を過ごすことが出来そうだから
- ⑨その他

年代別



【その他コメント】

- ・「良い年にしたい」という希望を込めて（複数）
- ・新事業が始まるので期待を込めて（50代・自営・男性）

2. 2019年の展望について

2-3. 2019年が「悪い年になりそう」な理由を教えてください。

「貯蓄（資産）が減りそうだから」が最多

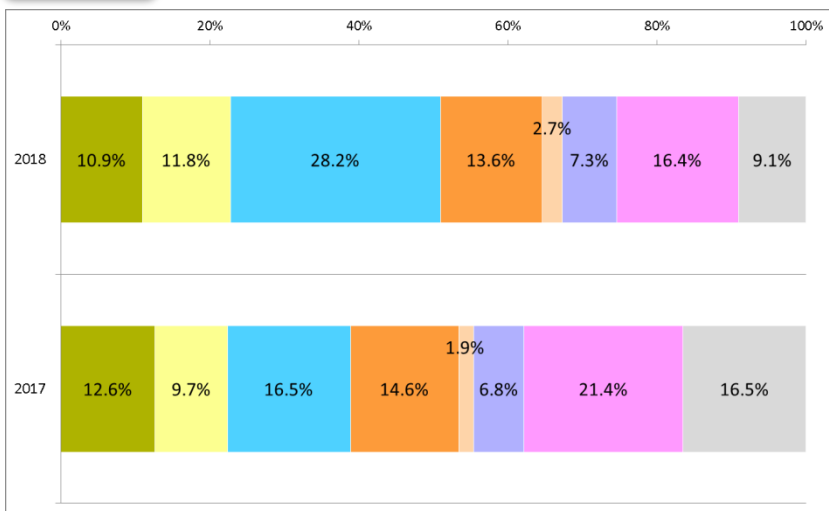
2018年が「悪い年になりそう」と回答した人に理由を尋ねたところ、「③貯蓄（資産）が減りそう」が前年比11.7ポイント増の28.2%で最も高い割合となった。次いで、「⑦充実した余暇を過ごすことが出来なそう」が前年比5.0ポイント減の16.4%、「④雇用環境が悪化しそう」が前年比1.0ポイント減の13.6%となり、昨年に比べて貯蓄（資産）への不安を挙げる割合が多くなっている。

年代別で見ると、60歳以上が「③貯蓄（資産）が減りそう」を理由に挙げる割合が前年比20.5ポイント増の53.8%と最も高くなった。また、30代では「給料やボーナスが減りそう」という回答が消え、「③貯蓄（資産）が減りそう」と回答した割合が前年比30.9ポイント増の42.9%と大幅に増加する結果となった。

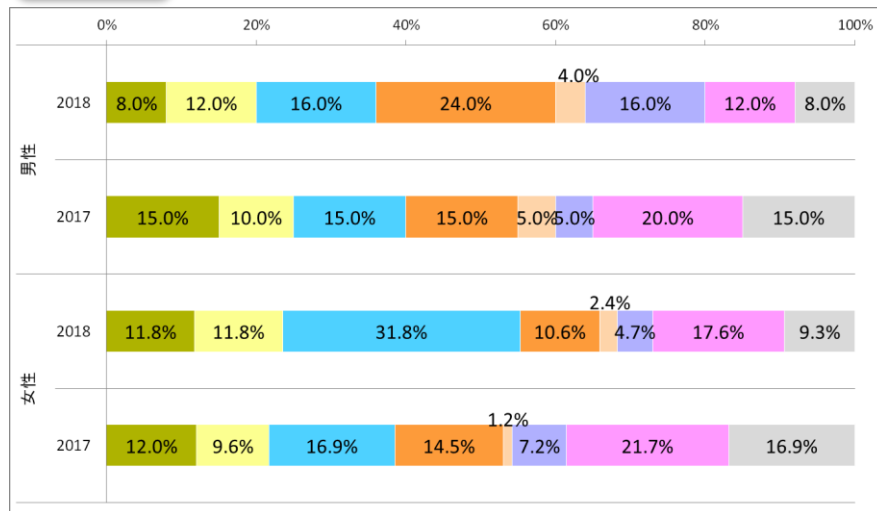
男女別で見ると、男性の方が「雇用環境が悪化しそう」を理由に挙げる割合が高く、女性の方が「貯蓄（資産）が減りそう」を挙げる割合が高い結果となっている。

- ①毎月の給料が減りそうだから
- ②ボーナスが減りそうだから
- ③貯蓄（資産）が減りそうだから
- ④雇用環境が悪化しそうだから
- ⑤自己研鑽に取り組みなさそうだから
- ⑥住宅や車など大きな買い物は難しそうだから
- ⑦趣味や娯楽などで充実した余暇を過ごすことが出来なさそうだから
- ⑧その他

全体



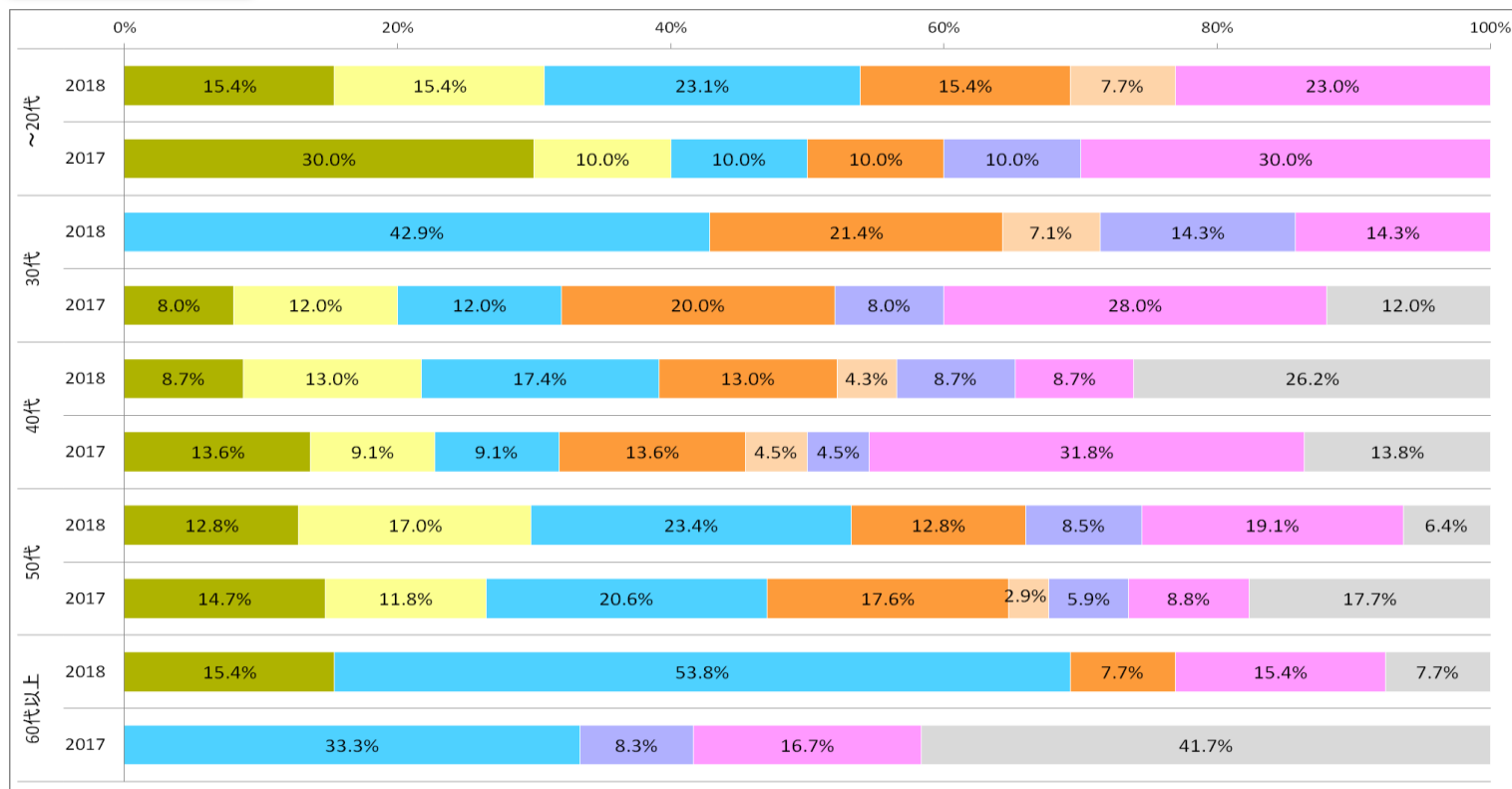
男女別



2. 2019年の展望について

- ①毎月の給料が減りそうだから
- ②ボーナスが減りそうだから
- ③貯蓄(資産)が減りそうだから
- ④雇用環境が悪化しそうだから
- ⑤自己研鑽に取り組みなさそうだから
- ⑥住宅や車など大きな買い物は難しそうだから
- ⑦趣味や娯楽などで充実した余暇を過ごすことが出来なさそうだから
- ⑧その他

年代別



【その他コメント】

- ・消費税の増税があるから（複数）
- ・子どもの出費が増えるから（40代・その他・女性）

3. 備えが必要（経済的に不安）と感ずること

「老後の生活費」が最多～人生100年時代～

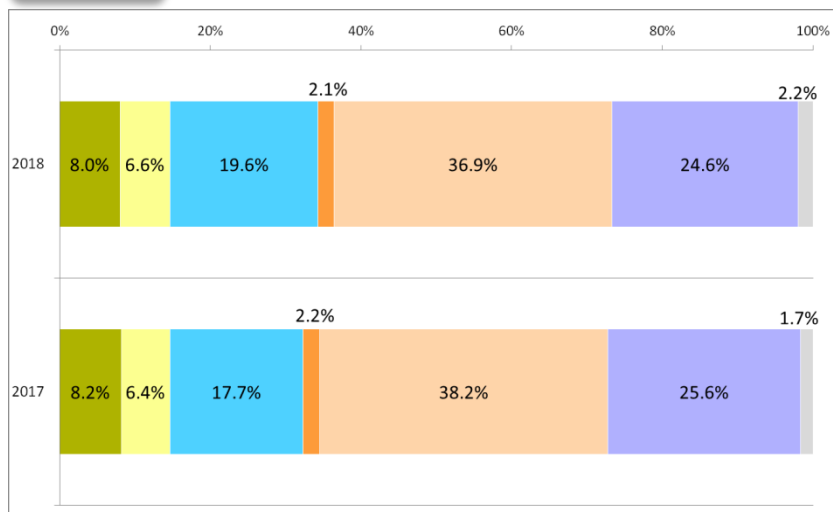
「備えが必要（経済的に不安）」と感ずることでもっとも高い割合となったのは、「⑤老後の生活費」で前年比1.3ポイント減の36.9%となった。次いで、「⑥病気や介護に備える資金」が前年比1.0ポイント減の24.6%、「③子どもの学費」が前年比1.9ポイント増の19.6%となっており、昨年とほぼ同様の結果となった。

年代別でみると、30代では「住宅・その他ローンの支払い」「子どもの学費」と回答した割合が昨年に比べ高くなっており、30代の半数近くが老後ではなく近い将来に対して、不安を抱いているという結果となった。

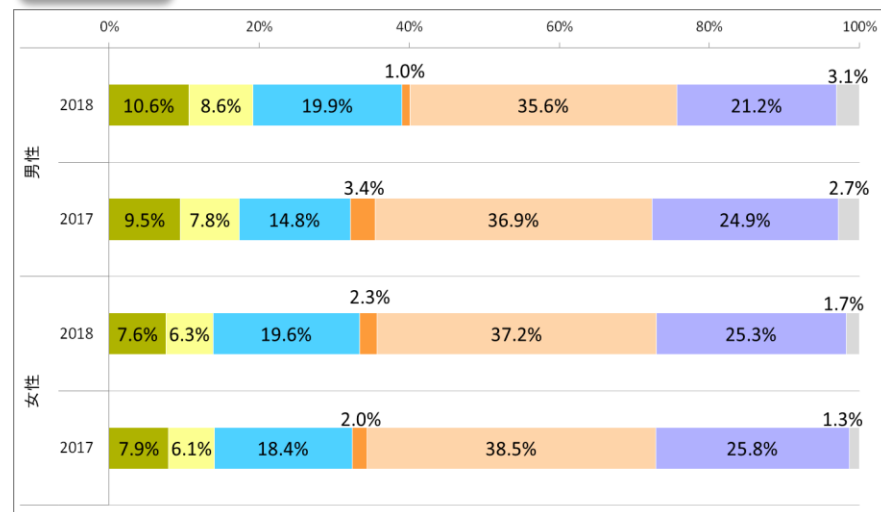
また、「老後の生活費」や「病気や介護に備える資金」は年代が高くなるにつれて割合も高くなり、60代以上では半数近くの人が不安を抱いている。

- ①住宅ローンの支払い
- ②その他ローンの支払い
- ③子どもの学費
- ④家賃の支払い
- ⑤老後の生活費
- ⑥病気や介護に備える資金
- ⑦その他

全体



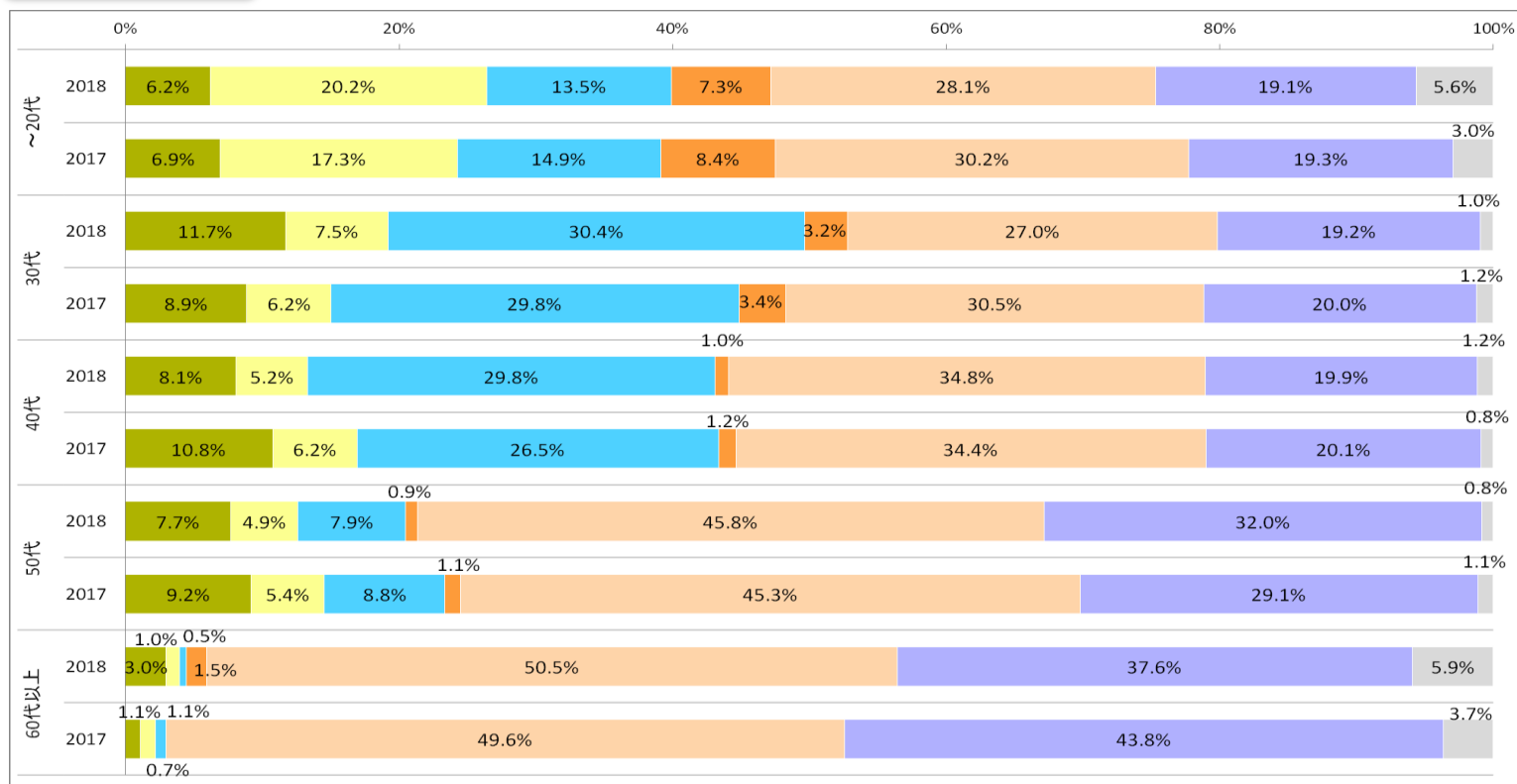
男女別



3. 備えが必要（経済的に不安）と感じること

- ①住宅ローンの支払い
- ②その他ローンの支払い
- ③子どもの学費
- ④家賃の支払い
- ⑤老後の生活費
- ⑥病気や介護に備える資金
- ⑦その他

年代別



【その他コメント】

- ・結婚資金（20代・民間・女性）
- ・年金で足りるかどうか不安（50代・その他・女性）

4. 今、一番買いたいもの

「家電製品」→「自家用車」→「住宅」

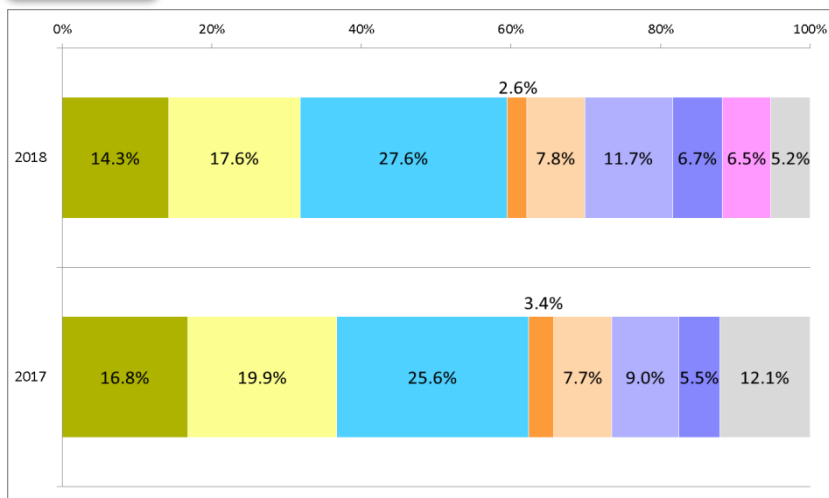
今、一番買いたいものを尋ねたところ、「③家電製品」が前年比2.0ポイント増の27.6%と最も高い割合となった。次いで、「②自家用車」が前年比2.3ポイント減の17.6%、「①住宅」が2.5ポイント減の14.3%となった。

年代別で見ると、60代以上の「③家電製品」が前年比7.0ポイント増の32.8%と最も多い結果となった。また、「⑥衣服品」は、60代以上を除く全ての年代で昨年より高い割合となった。「①住宅」「②自家用車」については、多くの年代で昨年を下回る結果となった。また「その他のコメント」として、50代から「住宅のリフォーム」という回答が多く挙げられた。

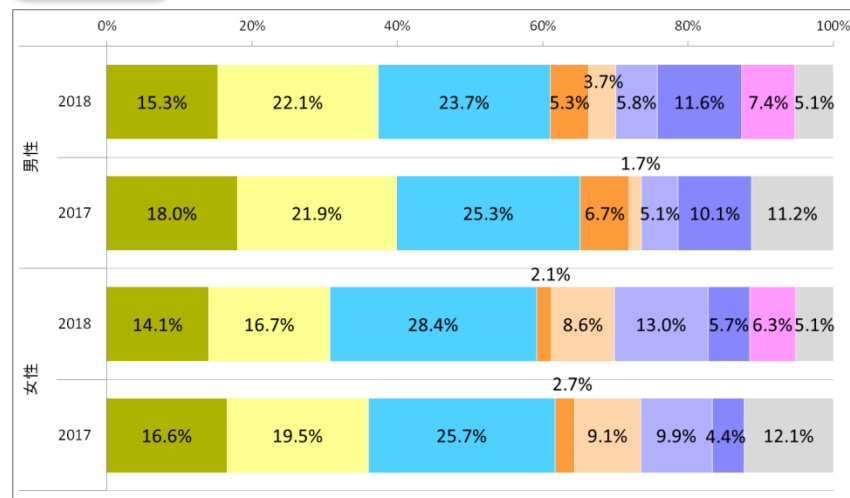
男女別で見ると、男性の方が「自家用車」「娯楽用品」を挙げる割合が高く、女性の方が「衣料品」「インテリア」を挙げる割合が高くなっている。

- ①住宅
- ②自家用車
- ③家電製品
- ④IT製品
- ⑤インテリア用品
- ⑥衣料品
- ⑦娯楽用品
(レジャー用品)
- ⑧特になし
(2018年のみ)
- ⑨その他

全体



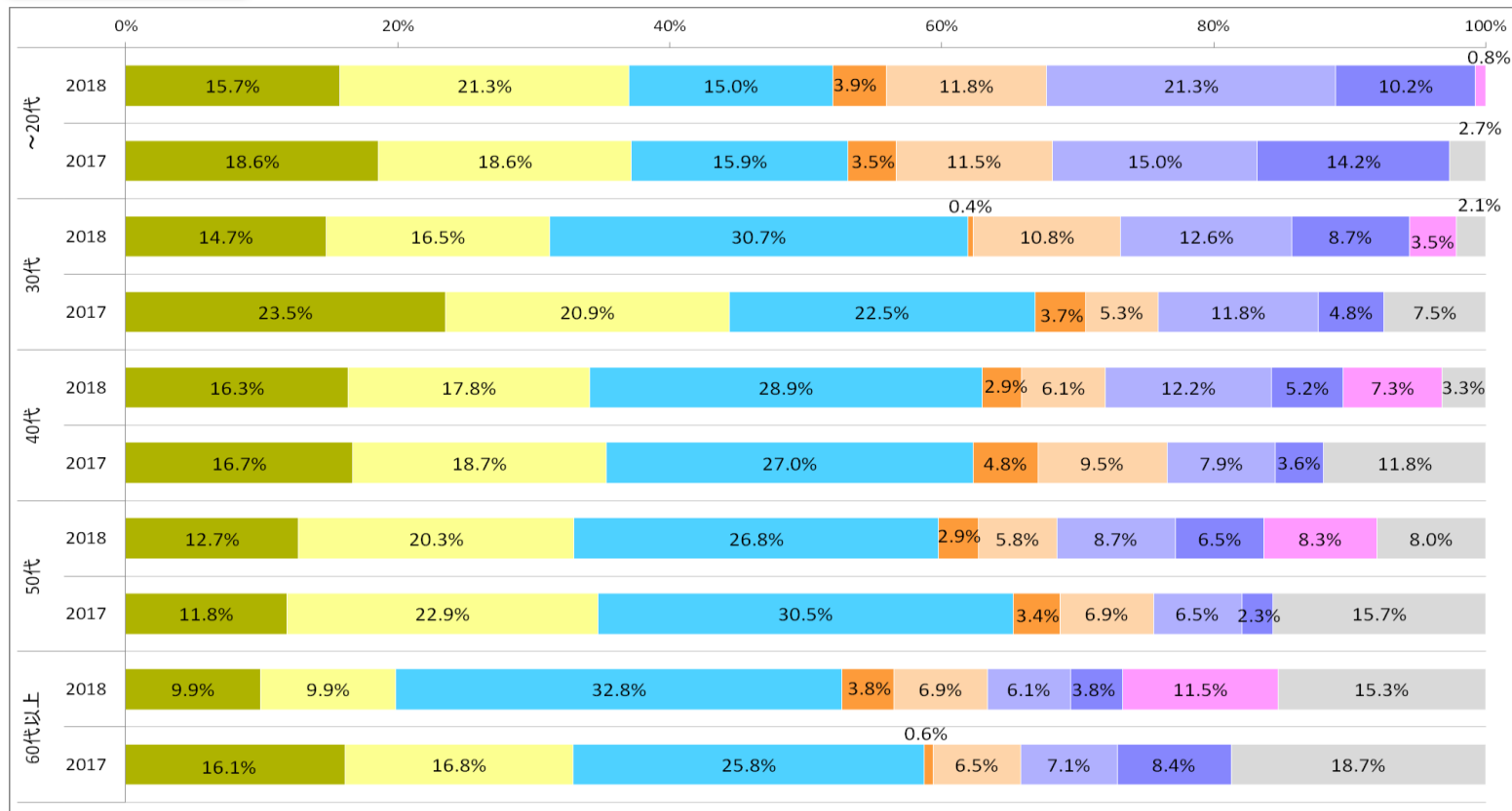
男女別



4. 今、一番買いたいもの

■①住宅 ■②自家用車 ■③家電製品 ■④IT製品 ■⑤インテリア用品 ■⑥衣料品 ■⑦娯楽用品 ■⑧特になし (レジャー用品) ■⑨その他 (2018年のみ)

年代別



【その他コメント】

- ・リフォームをしたい（複数）
- ・旅行に行きたい（複数）

5. お金の支払いをする際の決済方法

現金が7割超

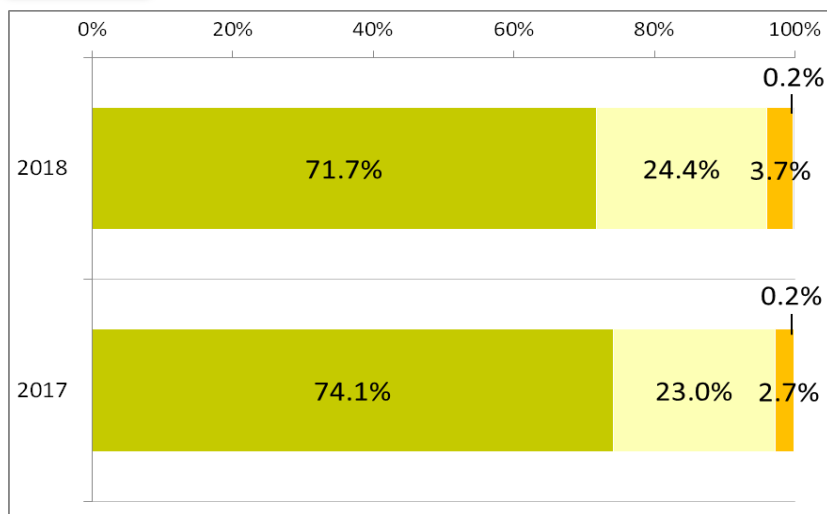
お金の支払いをする際の決済方法を尋ねたところ、「現金」が前年比2.4ポイント減の71.7%と最も高い割合となった。次いで、「クレジットカード」が前年比1.4ポイント減の24.4%、「電子マネー」が前年比1.0ポイント増の3.7%となった。「その他」ではプリペイドカード・口座振替・クレジットカード等のポイント支払と回答する人もいた。

年代別では、20代のクレジットカード決済が前年比8.9ポイント増の27.1%となり、決済方法の変化が見られた。また、60代以上を除く全ての年代で「電子マネー」が昨年を上回る結果となった。

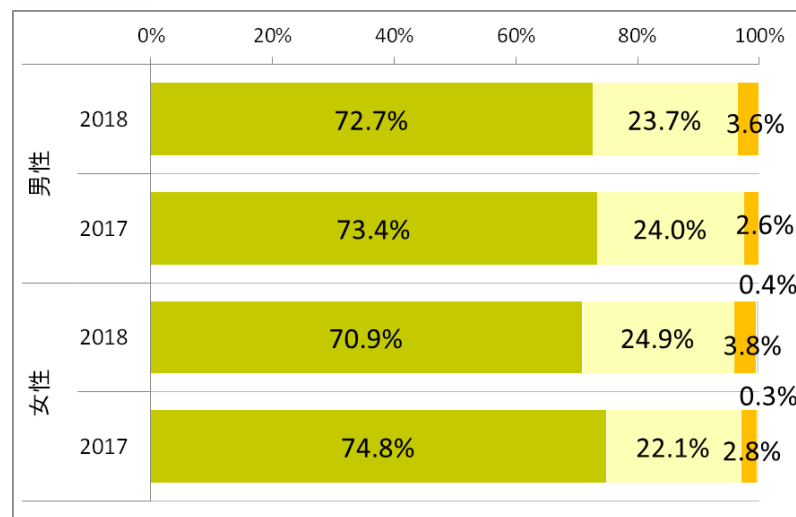
総じて、昨年に比べて大きな変化は見られなかったが、2019年10月に消費増税が予定されており、増税対策としてキャッシュレス決済のポイント還元などにより、キャッシュレス化の動きがますます加速する可能性がある。

■現金 ■クレジットカード ■電子マネー ■その他

全体



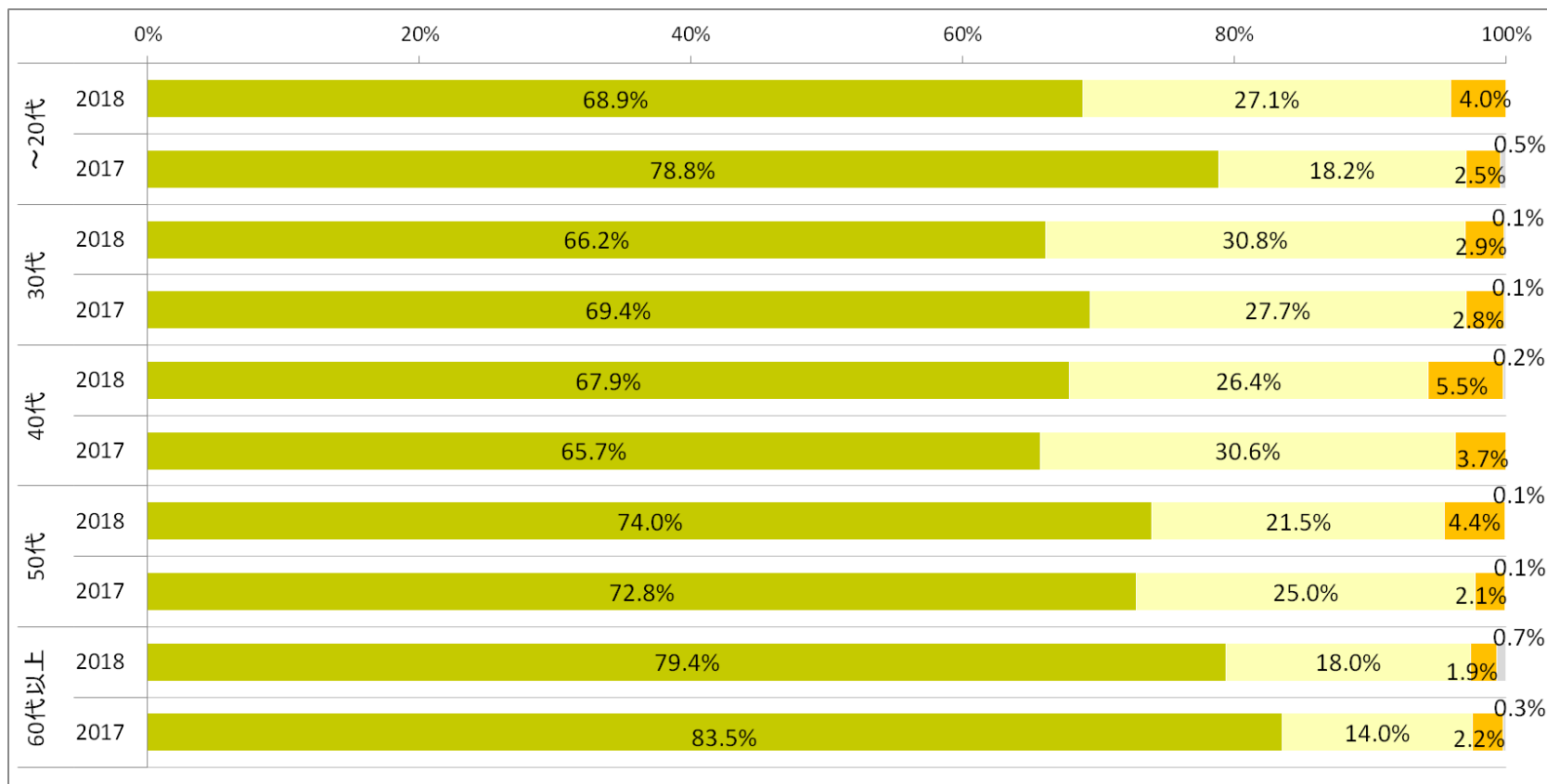
男女別



5. お金の支払いをする際の決済方法

■現金 □クレジットカード ■電子マネー □その他

年代別



6. 資産運用について

6-1. NISA(ニーサ)やiDeCo(イデコ)等、少額からでも始められる資産形成に役立つ制度を知っていますか？

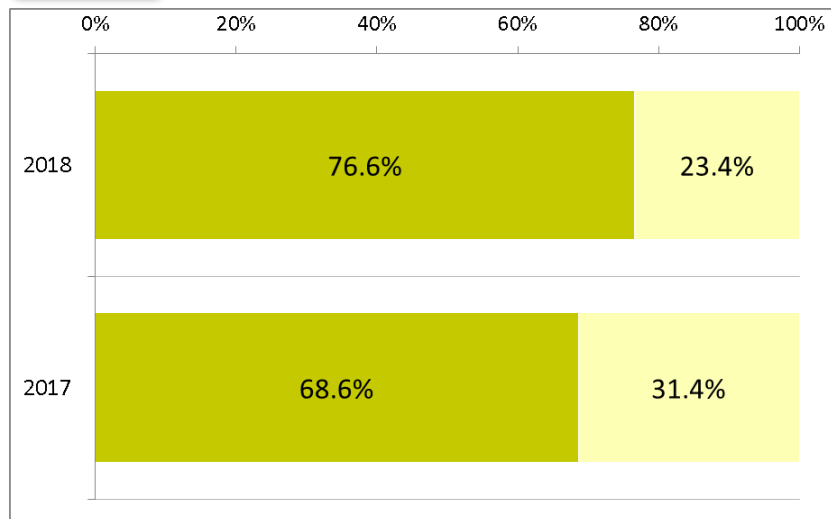
制度の周知は進んでいる

NISA(ニーサ)やiDeCo(イデコ)等、少額からでも始められる資産形成に役立つ制度を知っているか尋ねたところ、前年比8.0ポイント増の76.6%が「知っている」と回答し、幅広い年代で制度の周知は進んでいることが分かった。

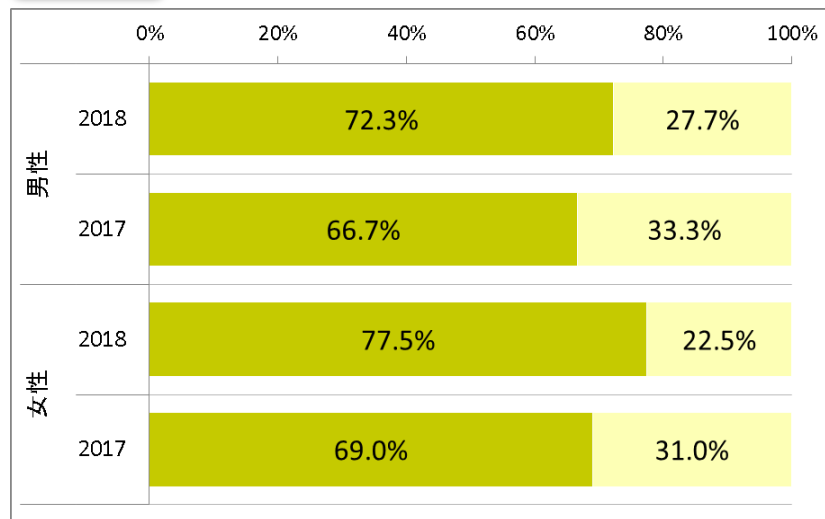
年代別に見ると、全世代で昨年より高まる結果となり、特に20代では前年比25.4ポイント増の85.9%と最も高い割合となった。また、30代と50代で「知っている」割合が約8割と、次いで高い結果となっている。

■①知っている □②知らない

全体



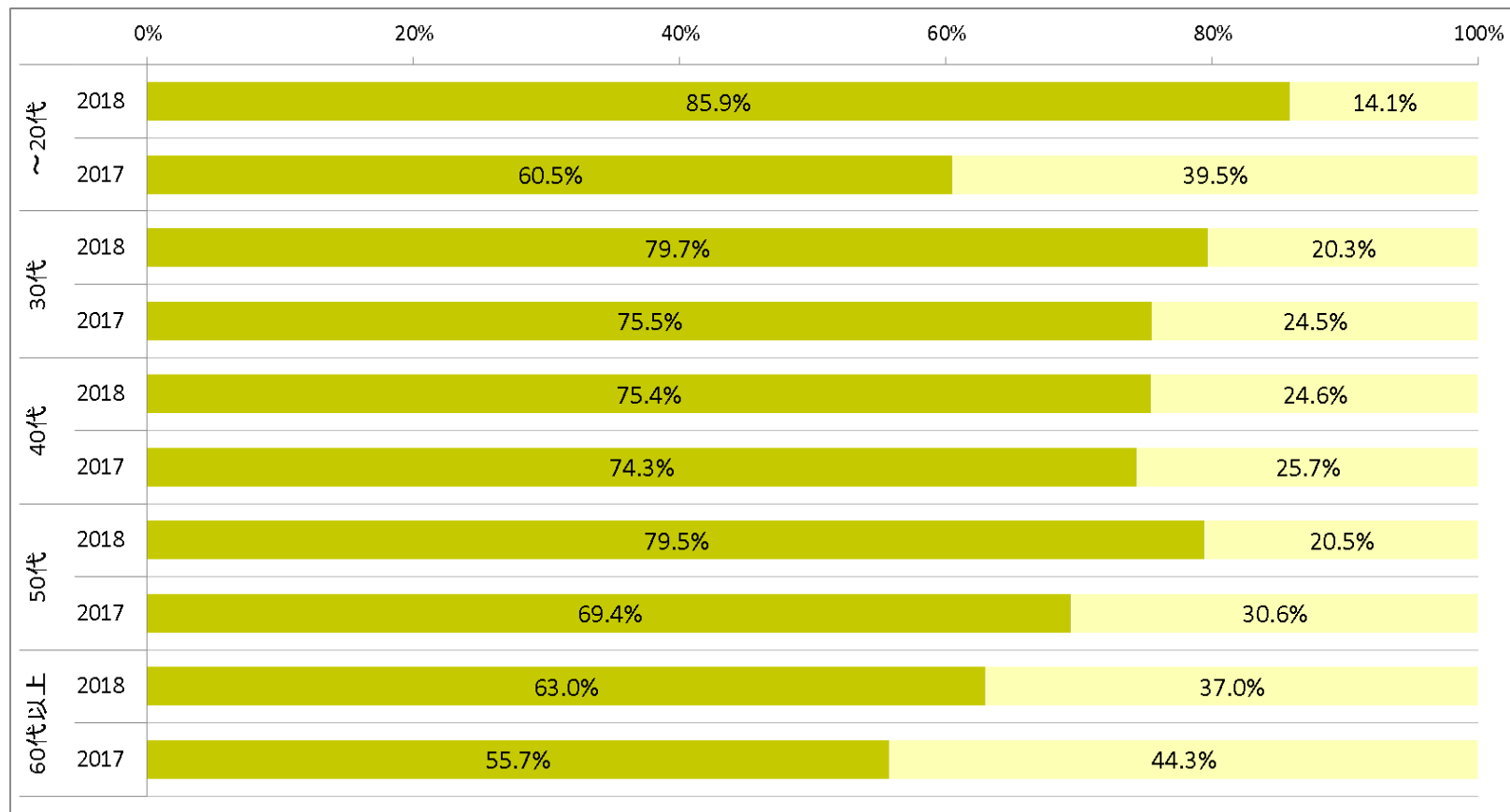
男女別



6. 資産運用について

■①知っている □②知らない

年代別



6. 資産運用について

6-2. 資産運用に興味はありますか？

20代・30代の関心が高い

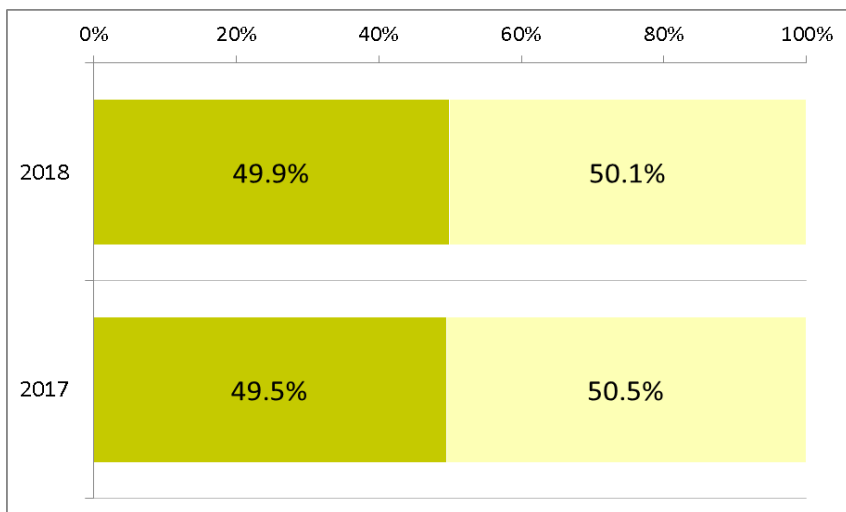
資産運用に興味があるか尋ねたところ、「興味がある」と回答した割合は、前年比0.4ポイント減の49.9%と「興味がない」とほぼ同率となった。

年代別で見ると、20代が前年比17.0ポイント増の62.6%が「興味がある」と回答しており、前述の資産形成に役立つ制度の認知状況と資産運用への関心状況は、比例関係が見られた。

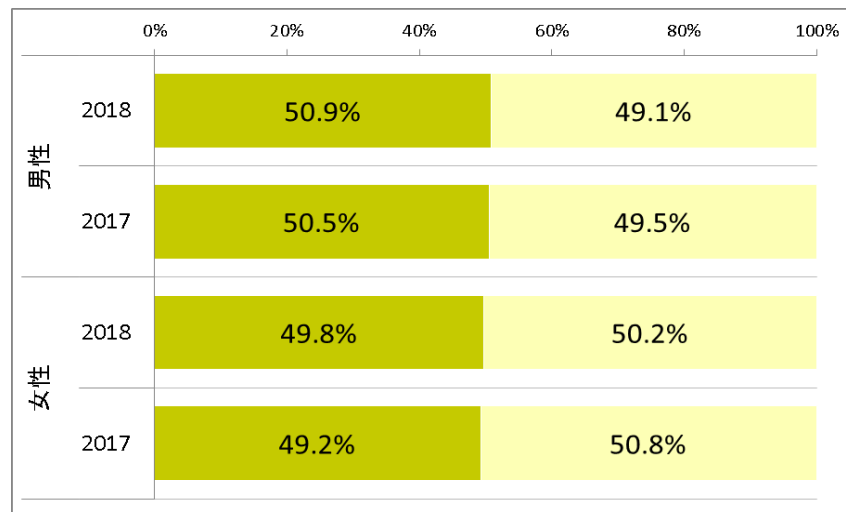
また、60代以上で「興味がある」割合は前年比3.3ポイント減の34.3%と一番低い割合となっている。

■ ①興味がある □ ②興味がない

全体



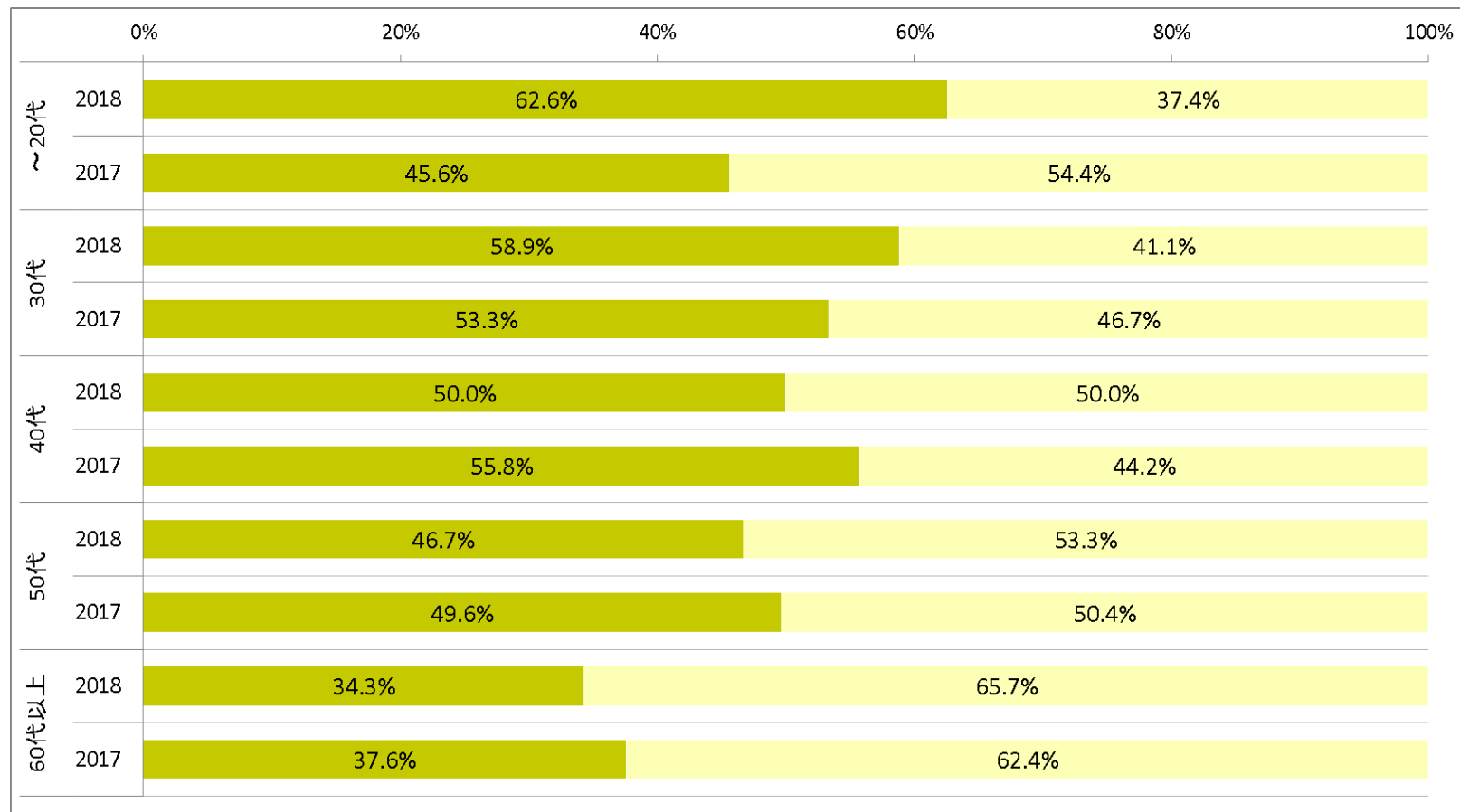
男女別



6. 資産運用について

■ ①興味がある □ ②興味がない

年代別



6. 資産運用について

6-2-1. 資産運用について「興味がない」理由を教えてください。

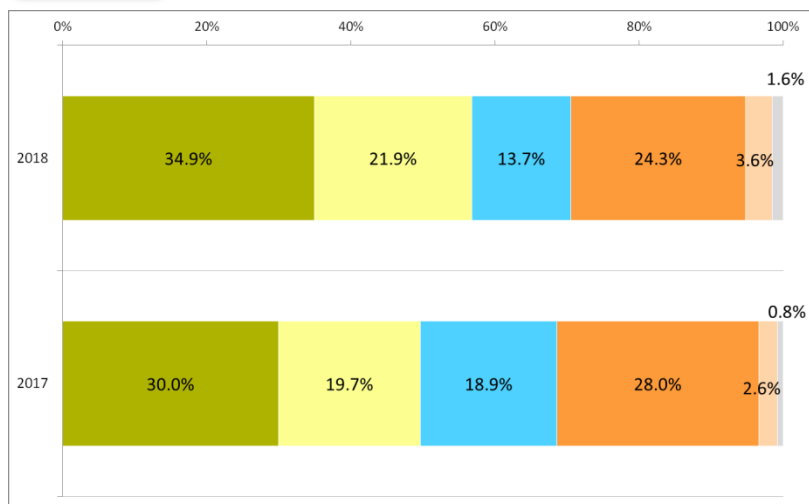
全世代で必要性を感じつつも、運用に回すお金がない

質問6-2で資産運用に「興味がない」と回答した人に、「興味がない理由」を尋ねたところ、「①運用に回すお金がない」が前年比4.9ポイント増の34.9%で最も多い割合となった。次いで、「④(資産運用の)知識がないから」が前年比3.7ポイント減の24.3%となった。

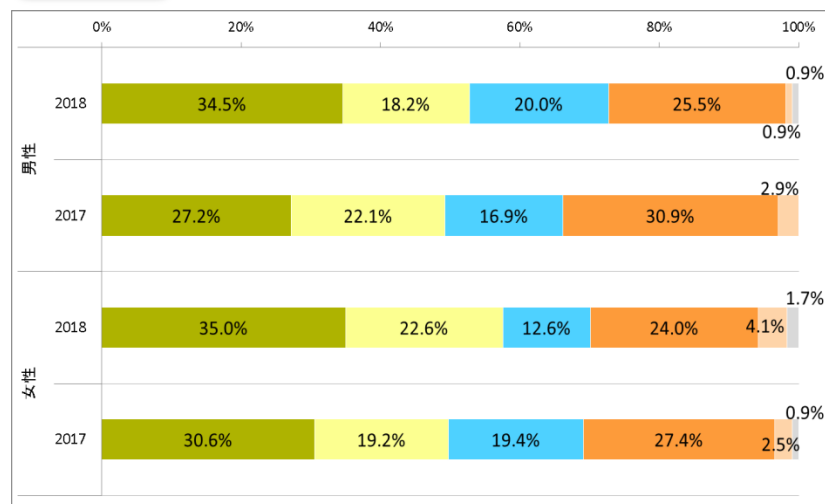
年代別に見ると、全世代で昨年に比べて「必要性を感じない」「知識がない」という回答が昨年を下回ったものの、「運用に回すお金がない」と回答した割合が増加し、特に20代は「運用に回すお金がない」の割合が前年比16.5ポイント増の46.8%と最も高い割合となった。

- ①運用に回すお金がないから
- ②損失等の可能性があるから
- ③必要性を感じないから
- ④(資産運用の)知識がないから
- ⑤過去に失敗した経験があるから
- ⑥その他

全体



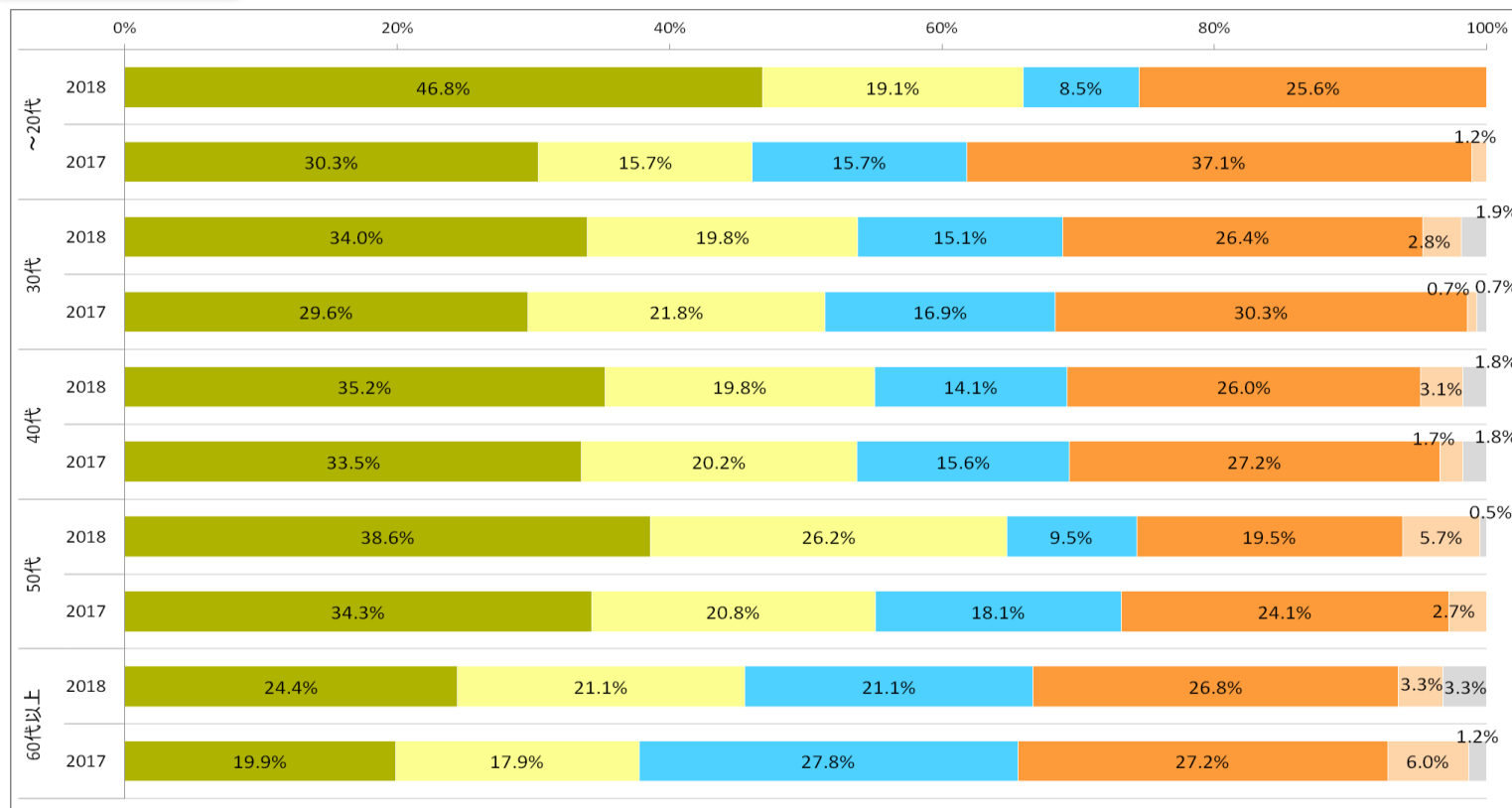
男女別



6. 資産運用について

- ①運用に回すお金がないから
- ②損失等の可能性があるから
- ③必要性を感じないから
- ④(資産運用の)知識がないから
- ⑤過去に失敗した経験があるから
- ⑥その他

年代別



【その他コメント】

- ・ 家族（配偶者）がやっているから（複数）

6. 資産運用について

6-3. 現在、何かしらの資産運用はしていますか？

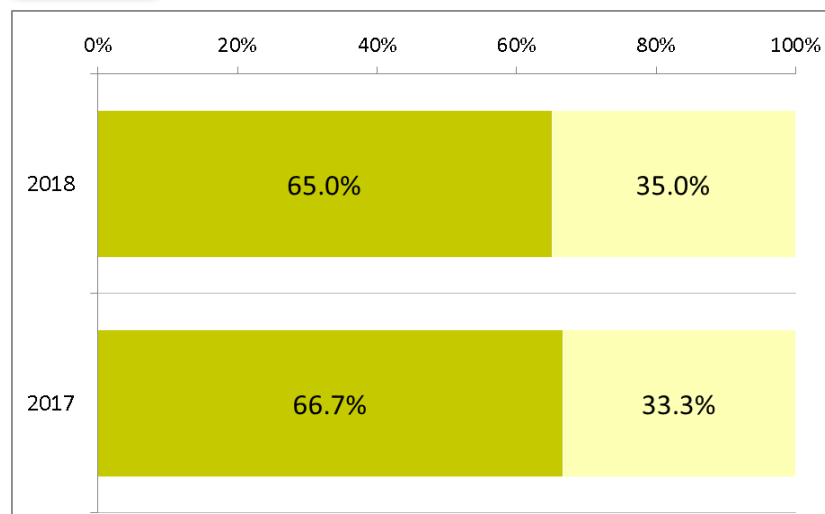
50代・60歳以上では7割の人が資産運用をしている

質問6-2で資産運用に「興味がある」と回答した人に、資産運用をしているか尋ねたところ、「している」と回答した割合が前年比1.7ポイント減の65.0%と資産運用に興味がある人の大半は既に資産運用を開始しているとの結果となった。

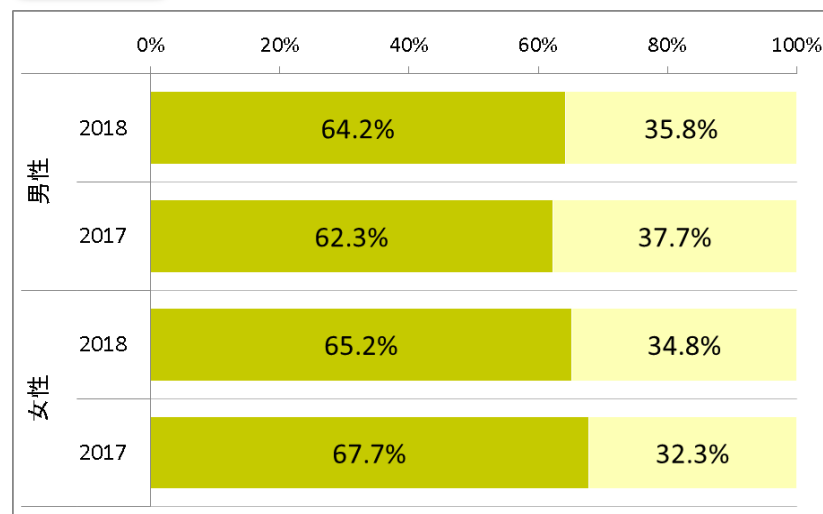
年代別で見ると、20代が前年比2.9%増の53.8%となったものの、一番低い割合となっている。50歳・60歳以上では7割超と一番高い割合となっている。

■①している □②していない

全体



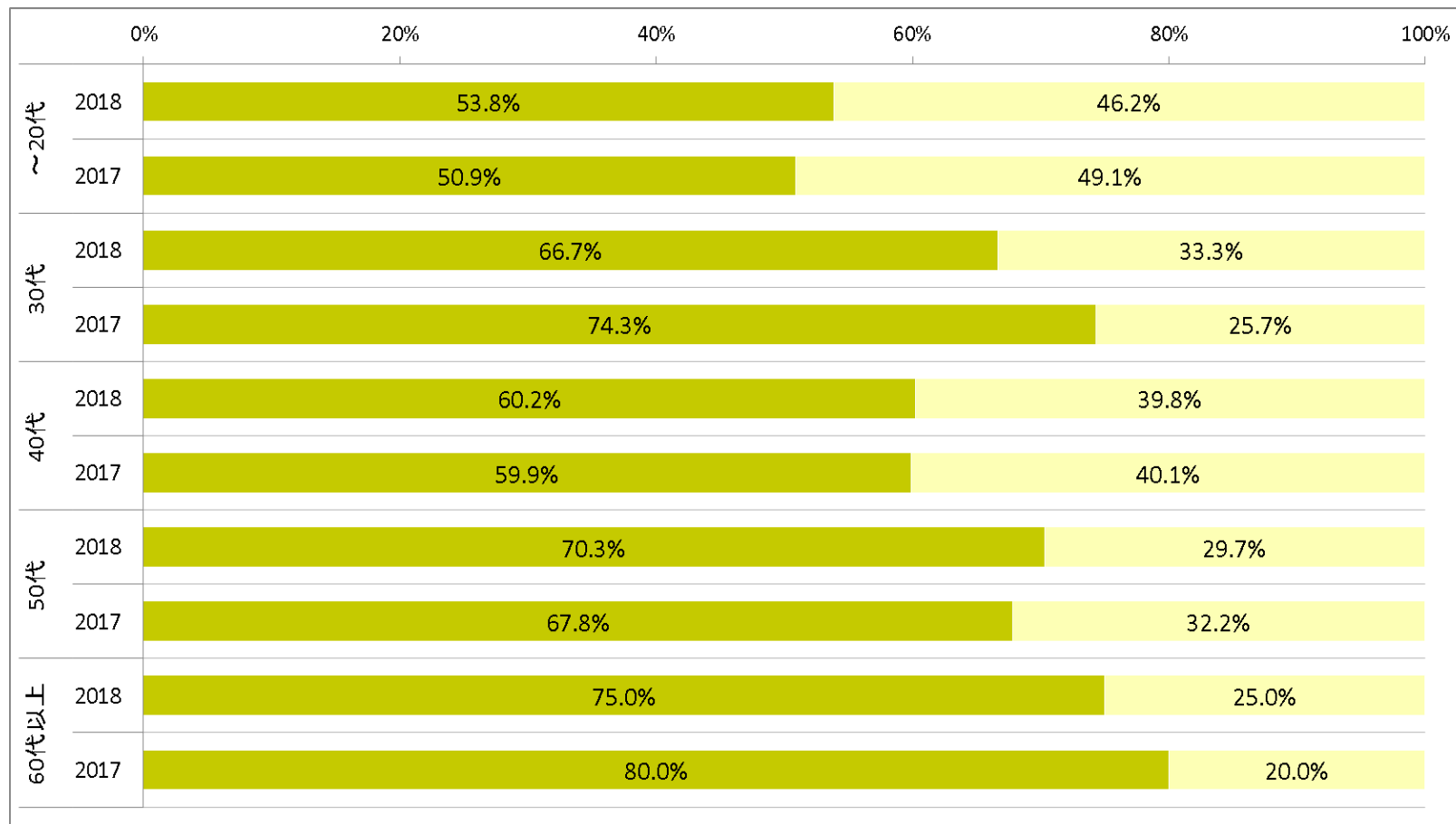
男女別



6. 資産運用について

■ ①している □ ②していない

年代別



6. 資産運用について

6-3-1. 資産運用を始めていない一番の理由を教えてください。

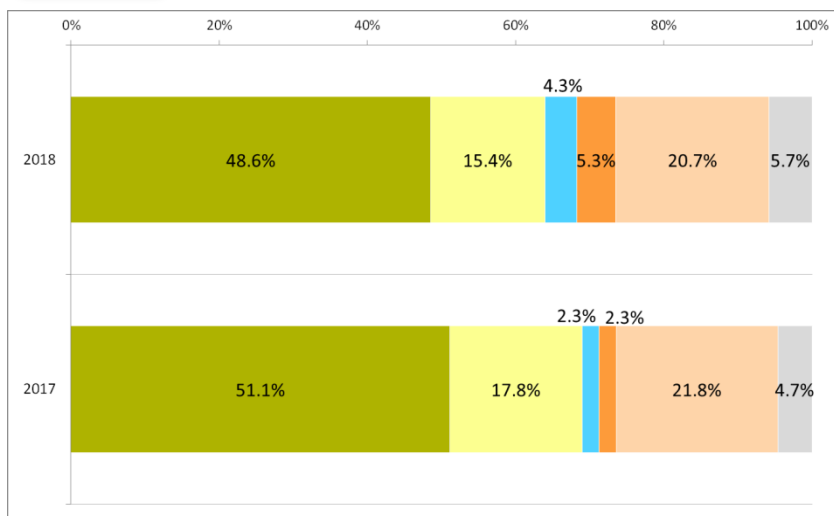
「運用に回すお金がない」が最多割合

質問6-3で資産運用を「していない」と回答した人に資産運用を始めていない一番の理由を尋ねたところ、「①運用に回すお金がない」が2.5ポイント減の48.6%と最も多い割合となった。次いで、「⑤情報収集中」が前年比1.1ポイント減の20.7%となった。

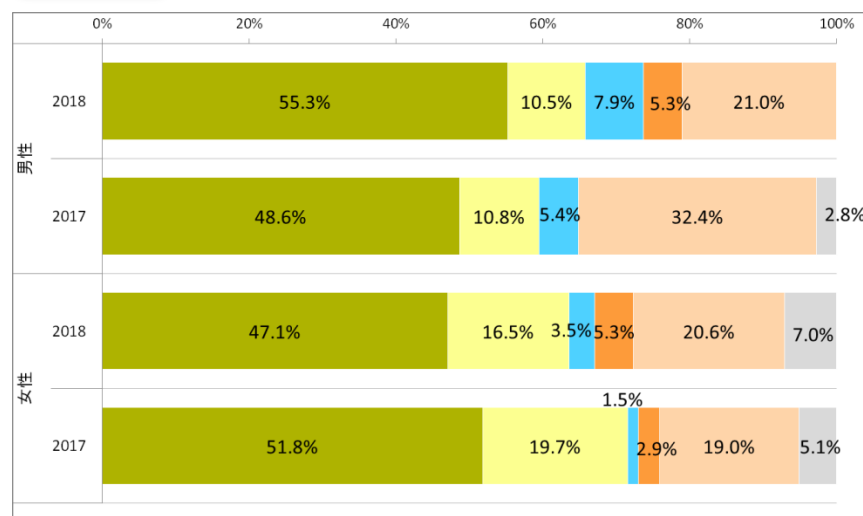
年代別で見ると、「運用に回すお金がない」は30代で前年比15.9ポイント増の65.9%と高い割合となった。次いで60代以上が前年比34.9ポイント増の56.3%という結果になった。20代では、「情報収集中」を挙げる割合が高く、また「相談する相手がいない」という回答が昨年を上回った。

- ①運用に回すお金がないから
- ②損失等の可能性があるから
- ③過去に失敗した経験があるから
- ④相談する相手がいないから
- ⑤現在、情報収集中
- ⑥その他

全体



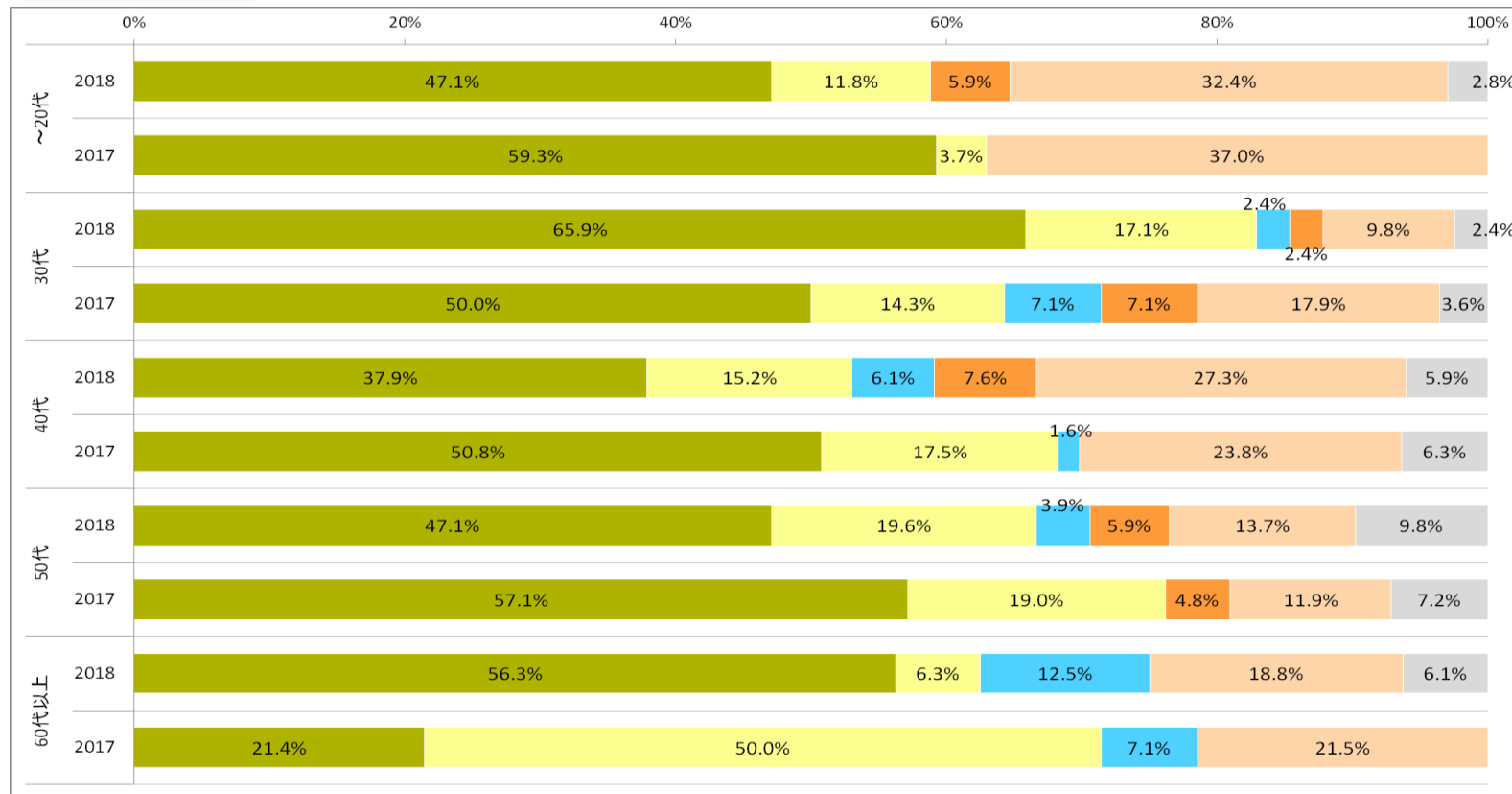
男女別



6. 資産運用について

- ①運用に回すお金がないから
- ②損失等の可能性があるから
- ③過去に失敗した経験があるから
- ④相談する相手がいないから
- ⑤現在、情報収集中
- ⑥その他

年代別



【その他コメント】

- ・説明を聞く時間がない（複数）
- ・手続きに時間を取られるから（50代・民間・女性）

6. 資産運用について

6-4. 資産運用を始めたきっかけを教えてください。

20代は「自分で興味を持って」資産運用を開始

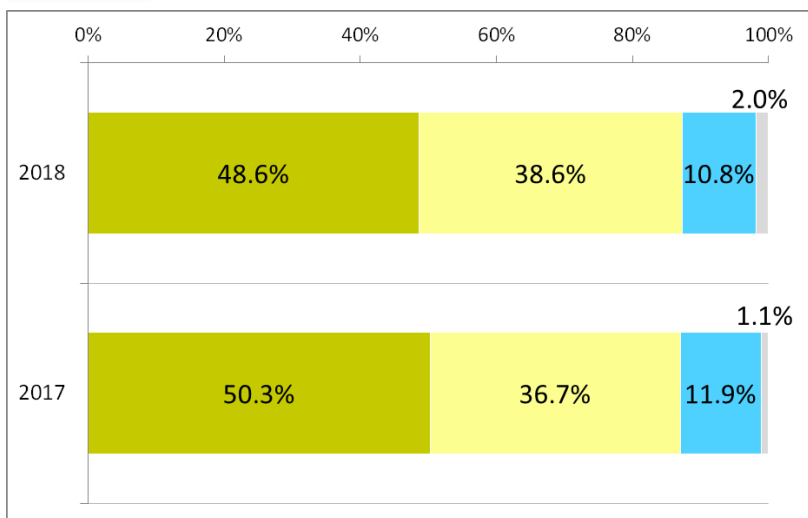
質問6-3で資産運用を「している」と回答した人に資産運用を始めたきっかけを尋ねたところ、「①金融機関に勧められた」が前年比1.7ポイント減の48.6%と最多割合となった。

次いで、「②自分で興味を持った」が前年比1.9ポイント増の38.6%、「③周りの人に勧められた」が前年比1.1ポイント減の10.8%となった。

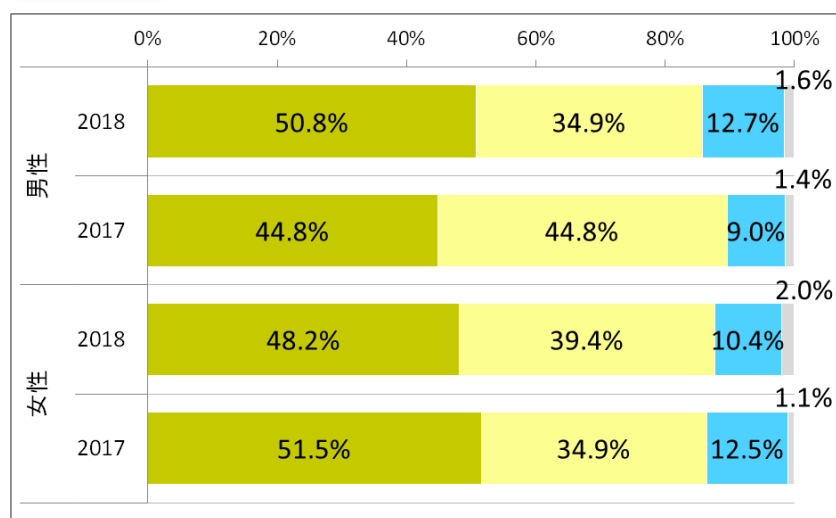
年代別に見ると、50代の「金融機関に勧められた」と回答した割合は、前年比5.2ポイント増の60.6%と最多割合となった。また、50代を除く全ての年代で「自分で興味を持って」始めたと回答した割合が昨年に比べ増加し、特に20代では前年比17.1ポイント増の52.8%と高い結果となった。

- ①金融機関に勧められたから
- ②自分で興味を持ったから
- ③周りの人(家族や友人など)に勧められたから
- ④その他

全体



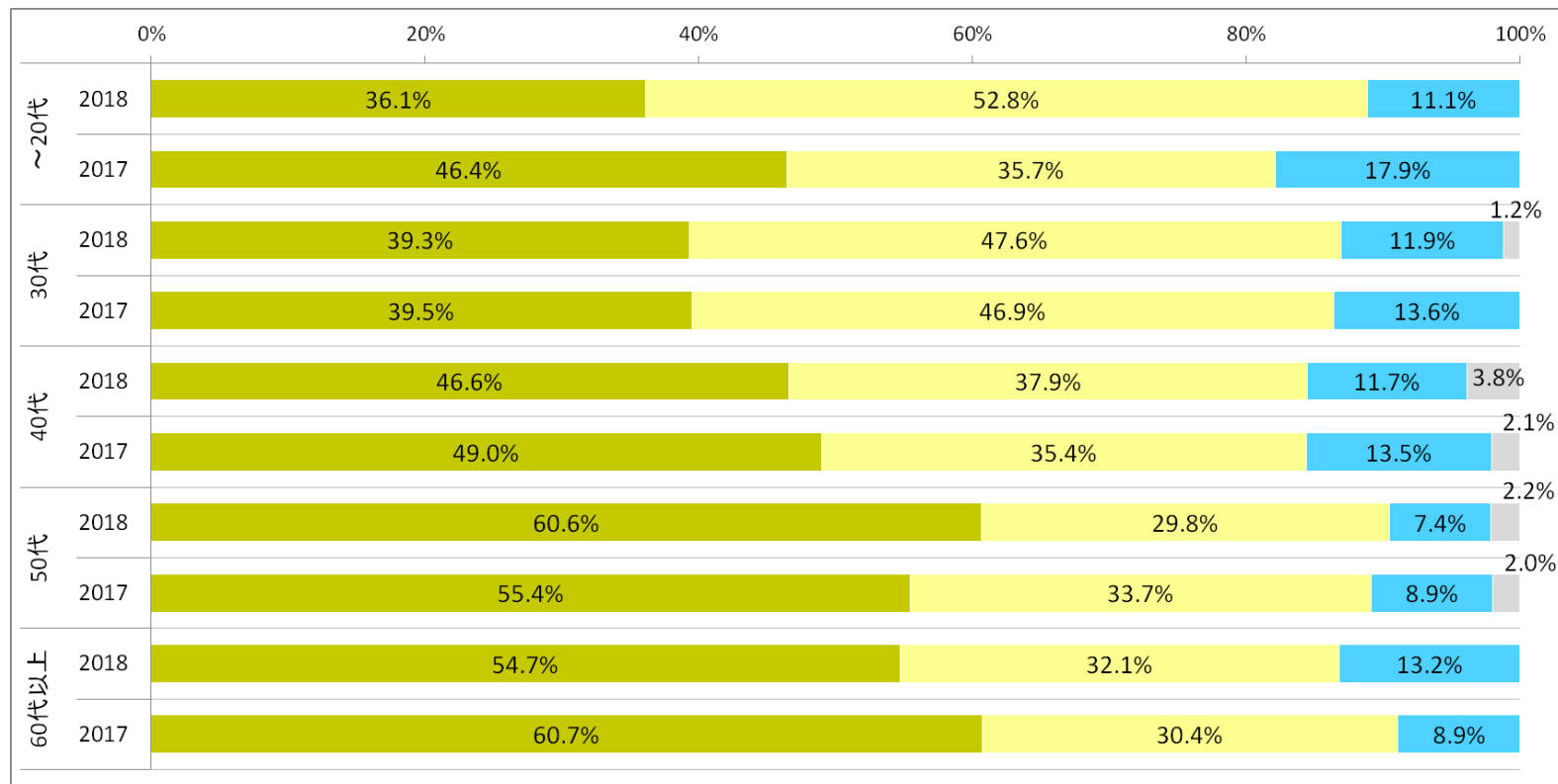
男女別



6. 資産運用について

- ①金融機関に勧められたから
- ②自分で興味を持ったから
- ③周りの人(家族や友人など)に勧められたから
- ④その他

年代別



【その他コメント】

- ・会社で企業型拠出年金をやっている（30代・民間・女性）

6. 資産運用について

6-5. 資産運用を始めてから何年になりますか？

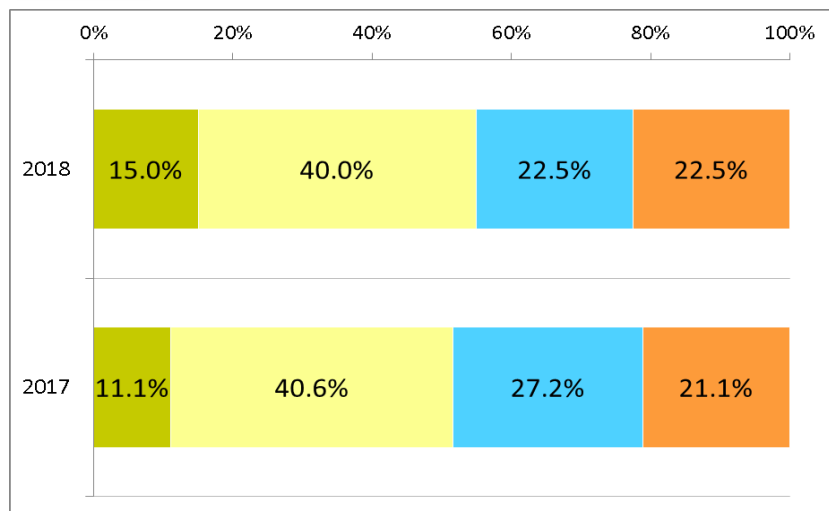
20代では資産運用を始めて「1年～5年未満」が5割弱

質問6-3で資産運用を「している」と回答した人に資産運用を始めて何年になるか尋ねたところ、「1～5年未満」が前年比0.6ポイント増の40.0%と最多割合となった。次いで、「5～10年」が前年比4.7ポイント減、「10年以上」が前年比1.4ポイント増で、同率の22.5%となった。

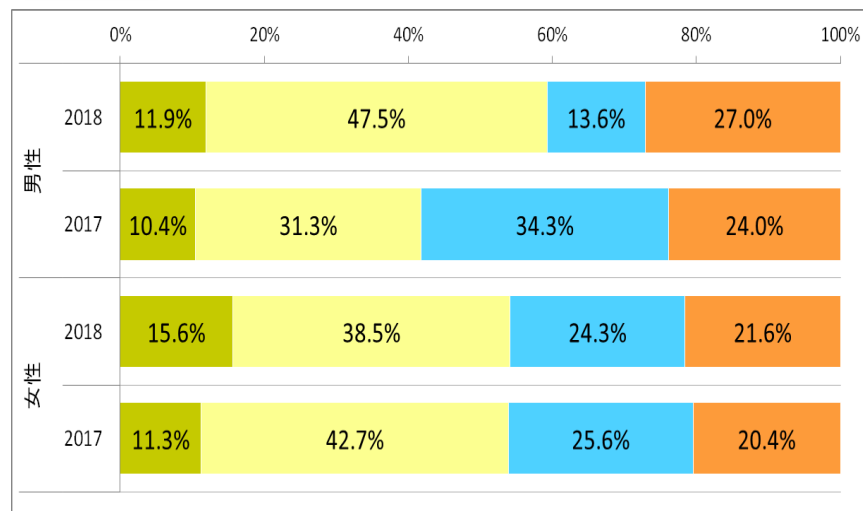
年代別で見ると、20代では資産運用を始めて「1年～5年未満」の割合が前年比11.4ポイント増の54.3%で最多割合となっている。また、30代の「10年以上」の割合は前年比8.5ポイント増の15.8%となっており、若いうちから資産運用に興味を示し運用を始めているという結果となった。

■①1年未満 ■②1～5年未満 ■③5～10年未満 ■④10年以上

全体



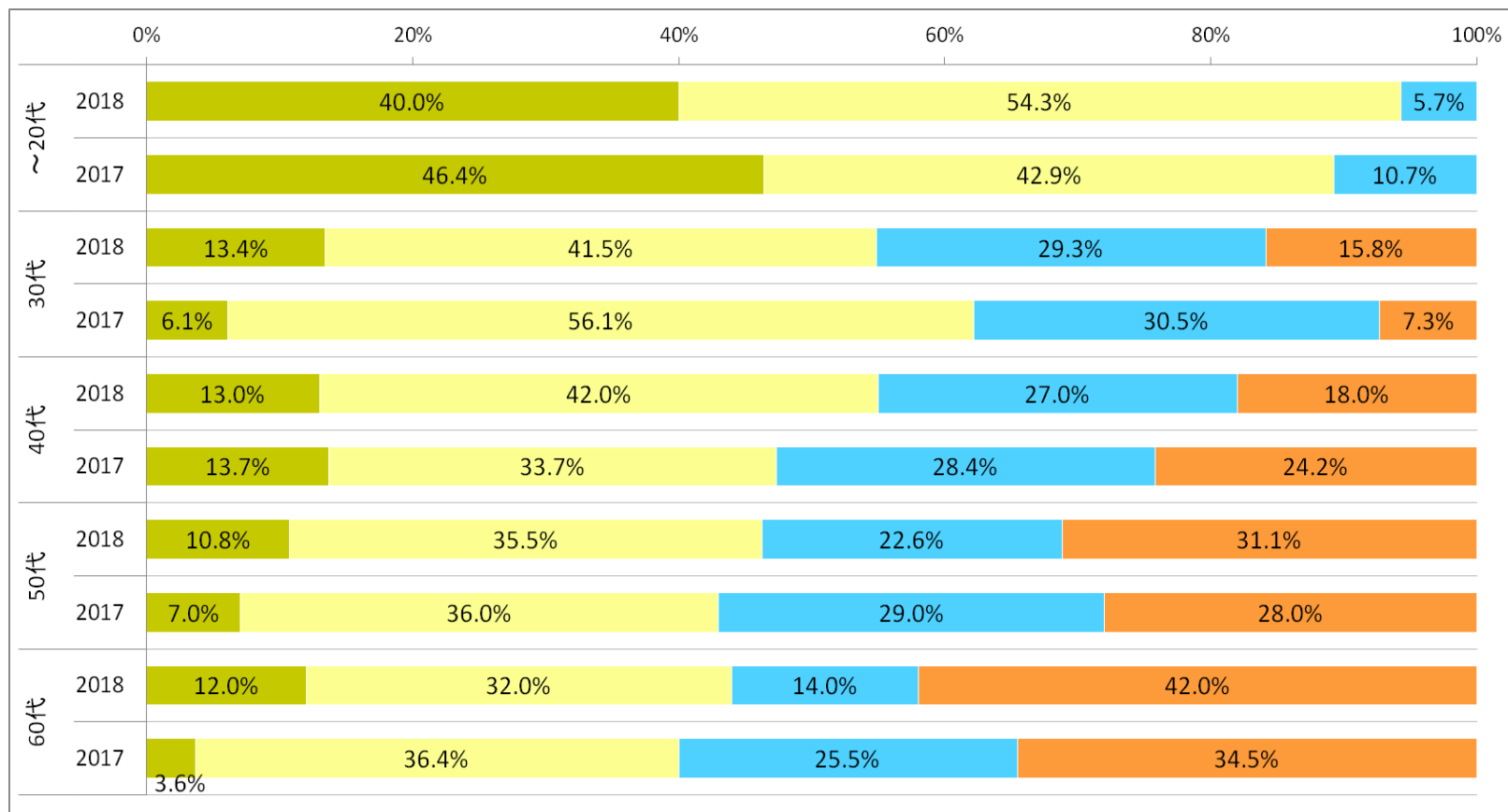
男女別



6. 資産運用について

■①1年未満 ■②1～5年未満 ■③5～10年未満 ■④10年以上

年代別



6. 資産運用について

6-6. どのような商品で資産運用をしていますか？

投資信託が約7割

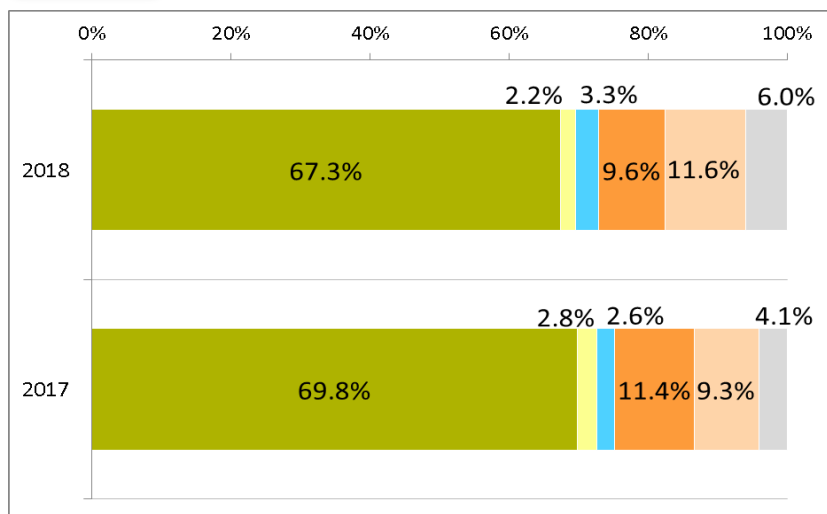
質問6-3で資産運用を「している」と回答した人にどのような商品で資産運用をしているか尋ねたところ、「①投資信託」が前年比2.5ポイント減の67.3%と最多割合となった。

次いで、「⑤株式」が前年比2.3ポイント増の11.6%、「④（投資性）のある保険」が前年比1.8ポイント減の9.6%となった。

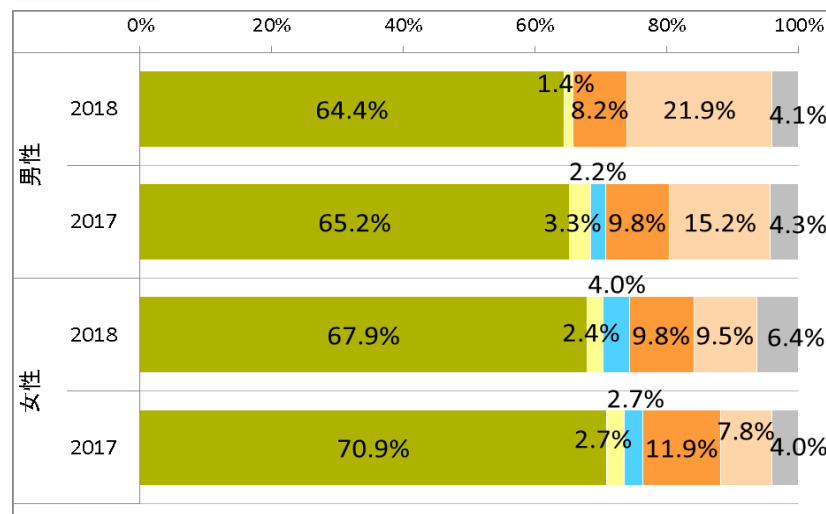
年代別で見ると、60代以上を除く全ての世代で「株式」が昨年を上回る結果となった。また、インターネットで気軽に取引ができる「投資信託」は、20代・30代で割合が高く約8割が運用している結果となった。

■ ①投資信託 ■ ②日本国債 ■ ③外国国債 ■ ④(投資性のある)保険 ■ ⑤株式 ■ ⑥その他

全体



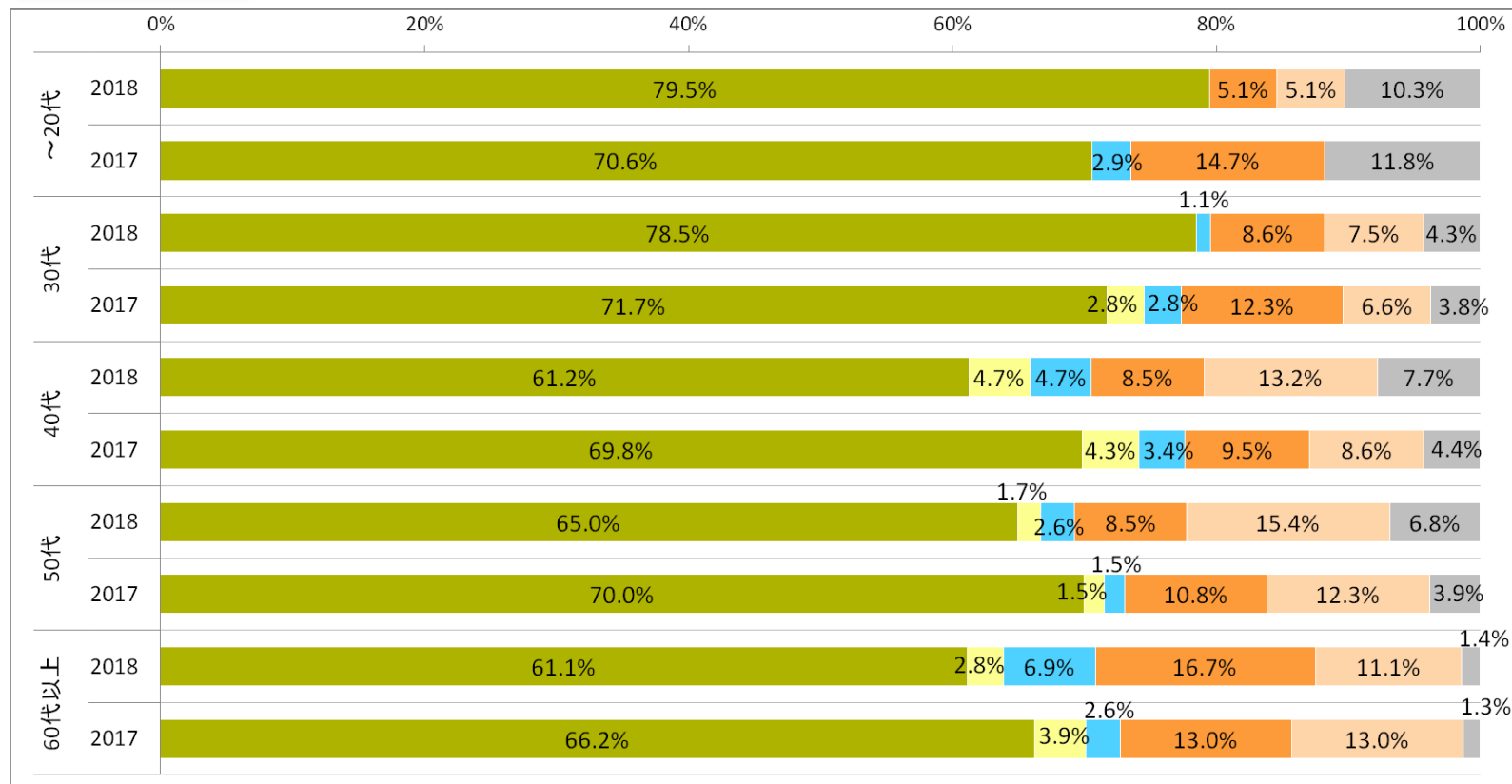
男女別



6. 資産運用について

■①投資信託 □②日本国債 ■③外国国債 ■④(投資性のある)保険 □⑤株式 □⑥その他

年代別



【その他コメント】

- ・iDeco（複数）
- ・仮想通貨（20代・民間・女性）